

第七十六回帝國議會
衆議院

恩給法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
恩給法中改正法律案(政府提出)
(第四〇號)
義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出)(第四一號)
小學校令ノ改正ニ伴フ恩給法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)(第四二號)

會議

昭和十六年二月十日(月曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 林 平馬君

理事森田重次郎君

熊谷五右衛門君

杉山元治郎君

仲井間宗一君

福田 悌夫君

本田 英作君

樋口善右衛門君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官

恩給局長

司法省行刑局長

文部次官

文部省普通學務局長

文部省體育局長

厚生省衛生局長

軍事保護院副總裁

軍事保護院援護局長

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員

陸軍軍醫少佐

古田 壽次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政

府提出

小學校令ノ改正ニ伴フ恩給法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)

○林委員長 開會致シマス、此ノ際委員外

ノ松岡俊三君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマスガ、御異議ガナケレバ許シタイト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○林委員長 ソレデハ松岡君

○松岡俊三君 委員外ノ私ニ發言ヲ許シテ

戴イタコトヲ、委員諸君ニ有難ク御禮ヲ申

上ゲマス、私が御尋ネ致シタイノハ、先年

陸軍ノ御案内ニ依ツテ第三陸軍病院ヲ限ナ

ク拜觀サセテ戴イタノデアリマシテ、我が

軍醫界ノ發達進步ハ驚クベキモノガアリマ

シテ、會テ「ドイッ」ガ我が日本ノ軍醫界方

面ニ多少ナリトモ、貢獻シタイカノ考ヘヲ

以テ、特ニ我が國ニ權威者ヲ送ツテ來タ程

デアツタノデアリマシタガ、我が軍醫界ノ

狀況ヲ見マシテ、アベコベニビツクリシテ歸

ツタト云フ程手ヲ拱イテ何事モナシ得ズ、

助言ヲナス資格ナドハナイト云フ程マデ我

ガ陸軍ノ各般ノ施設研究狀況ニ關シテ舌ヲ

卷イテ歸ツタト云フ程、「ドイッ」ノ軍醫界

デハ我が陸軍ノ發達進步ノ狀況ニ敬意ヲ表

シテ居ルト聞イテ居ルノデアリマス、又私

共モ彼ノ病院ノ狀況各般ノ施設ヲ隅々マデ

見マシテ國民ガ是ナラバ安心サセテ戴ケル

ト云フ程ノ感ジヨ私自身モ實際ニ持つタノ

デアリマス、是ナラバドンナ戰傷ノ者ガ來

テモ少シモ心配ナイ、國民ハ安心シテ可ナ

リ、斯様ニ私共ハ陸軍ノ軍醫界ニ感謝致シ

テ居ルノデアリマス、同様ニ海軍ニ於テ亦

然リダト確信致シマス、私未ダ残念ナガラ

海軍病院ノ狀況ヲ親シク視察致シマセヌノ

デ申上ゲルコトノ出來ヌノハ甚ダ自分ナガ

ラ恥入ル次第デアリマスケレドモ、陸軍ノ

狀況ニ付テハ、今申上ゲタヤウナ工合ニ、

サシモニ世界ニ誇ルベキ權威ヲ持つタモノ

ト自信シテ居ル「ドイッ」ガ、我が日本ノ陸軍

ノ軍醫界ノ狀況ニ驚イタノデアリマス、斯

様ニマデ私ハ陸軍ノ軍醫方面ノ施設ガ完全

致シテ居ルノデ喜ンデ居ル次第デアリマス、

此ノ第三陸軍病院長、謂ハバ全世界ニ於テ

ノ權威ヲ以テ任ジテ居ル所ノ陸軍第三病院

長ノ御診斷ノ結果、傷痍軍人ニ恩給ノ見込

アリトシテ見込書ヲ差出シテ居ルノデアリ

マスガ、此ノ受恩給ノ見込書、文字カラシ

テ見込書デアリ、確定的ノモノデハナイノ

デアリマス、併シナガラ日本ノ陸軍ノ軍醫

ノ施設ガ全世界ニ於テ第一位、其ノ中デノ

第三病院デアリマス、其ノ第三病院長ノ差

出シタル受恩給見込書ト云フモノハ、所謂

見込書ト云フ文字ニ因ハレバ、何分ノ掛

ケガアルトカ、其ノ後ニ於テドウスウ云フ

コトガ或ハアルカモ知レナイ、併シ見込書

ヲ貰ツテ居ツテ、此ノ兵隊ガ歸ツタ後ニ

於テ恩給ヲ貰ハナイト云フヤウナコトニナ

レバ、全世界ニ於テ權威ノアル第三陸軍病

院長ハ詰ラナイモノヲ出シタト云フコトニ

ナルノデアリマスガ、左様ナコトガアリマ

スカドウカ、見込書ヲ貰ツタ者ハ全部恩給

局ニ於テ恩給ヲ與レテ、負傷者ヲ喜バシメ

テ居ラレマスルカドウデアリマスルカ御尋

ネ致シマス

○平本政府委員 只今ノ御尋ネハ陸軍病院

長ノ診斷ニ依リマスル傷病關係ノ恩給ノ申

達ノコトデアラウト思ヒマスガ、ハ更ニ

陸軍省ノ醫務局ヲ通ジマシテ内閣恩給局ノ

方ニ申達サレルノデアリマス、其ノ場合ニ

恩給局ニ於キマシテハ、恩給法ノ規定ニ基

キマシテ、恩給局ノ顧問醫、醫學ノ方ノ專

門ノ顧問醫ノ判定ヲ必要ニ應ジテ求メテ裁

定ヲ致シテ居ル譯デアリマス、其ノ裁定標準ト

申シマスガ、是ガ御承知ノ通り恩給法ノ施行

令ニ大體書イテアルノデアリマス、併シ御承

知ノヤウニ病氣ト云フモノハ一人々々違フノ

デアリマス、今度ノ事變ニ於キマシテモ、

恐ラク何万人ト云フ數ニ上ルデアリマセウガ、

此ノ人ノ病氣ヲ判定スル區分ト云フモノ

ハ、極メテ僅カデアリマス、増加恩給關係ニ

於キマシテハ八區分、傷病年金ニ於キマシ

テ四區分、傷病獎金ガ四區分、合計致シマ

シテ十六區分ニ致シテ居リマス、何万ト云

フ人ノ一々違フ病氣ヲ結局法規定致シマ

スレバ、大體是位ニ區分スルヨリ外仕方ガ

ナイ譯デアリマス、隨ヒマシテ其ノ間ノ判

定ノ場合ニ、其ノ境ニ居ルヤウナ人ニ付キマシテハ、人ニ依ツテ色々意見ガ異ナルト云フコトモ考ヘラレコトデアリマス、サウ云フ關係デアリマスカラ、傷病賜金ノ裁定ノ際、是ハ傷病賜金ヲ受クベキモノデアルト云フ認定ガアツタ場合ニ、恩給局長ノ裁定ト致シマシテ、受給資格ナシト云フ風ナ裁定ガアリ得ナイト云フコトハナイト思ヒマス、現實ニドウ云フノガアツタカト云フコトハ今一寸記憶シテ居リマセヌガ、サウ云フ場合資格ガナイト云フ裁定ヲ戴クコトモナイ譯デハナイダラウト思ヒマス

○松岡委員 ナイ譯デハナイト云フト極ク少シアルト云フ譯デスカ

○平木政府委員 御承知ノ通りニ増加恩給ノ判定ニ付テ、内申ガアツタ場合ニ、例ヘバ増加恩給五項ナラ五項ノ内申ガアツタ場合ニ、或ハソレヲ六項ト認メル、又傷病年金ノ第一款ノ内申ガアツタ場合ニ、或ハ第二款ト認メルト云フ風ナ場合ハ色々アリマス、併シ傷病賜金モ傷病年金モ全然貰ヘナイト云フ例ハサウ多クハナイト思ヒマス

○松岡委員 傷病賜金ノ問題デヤナイ、恩給ヲ貰フカ貰ハヌカト云フコトガアリマスカ、ナイカ、受恩給ノ見込アリトシテ第三陸軍病院長ノ太鼓判ヲ押シタヤツ、サウ云フモノガ歸ツテ行ツテ恩給ヲ貰ヘナイト云フコトガアルカナイカト云フ意味デス、第三病院長ガ受恩給ノ見込アリトシタモノガ恩給局ニ於テハソレハ駄目ダ、權威ノナイモノダ、斯ウ云フコトニナツテ居ルカ、ナツテ居ラヌカ、ソコヲ聽クノデス

○平木政府委員 恩給ト云フ言葉ノ中ニハ所謂普通恩給ガアリマス、ソレカラ今申上ダタ増加恩給、ソレカラ傷病年金、傷病賜

金、其ノ外遺族扶助料モアリマスガ、此ノ場合ハ關係ガアリマセヌカラ申シマセヌ、斯様ナモノヲ總括シタ意味デアリマス、ソレカラ今恩給ヲ貰フ資格ガアル場合ニ貰ヘナイコトガアルカト云フ御質問ト伺ヒマシタガ、最低ノ傷病賜金ノ問題デヤナイカト云フ意味デ御答ヘシタ譯デアリマス

○松岡委員 戦傷賜金ト云ヒマスカ傷病賜金ト云ヒマスカ、受恩給ノ見込アリトシテ歸サレタ退院者デアリマス、其ノ兵隊ハ勿論自分ハソレニ適當シテ居ルモノト確信シテ居ル譯デス、ソレニ依ツテ正規ノ手續ヲシタ所ガ、ソレニ適當シナイ、唯傷病賜金ダケニ適當シテ居ルト云フコトデ、第三陸軍病院長ノ證明シタモノガ全然空文ニナツテシマツタ實例ヲ私ハ知ツテ居ル、陸軍省ニモ私ハ交渉ニ行ツタ、恩給局長ハホンノ僅カアルカモ知レナイナドト言ヒマスケレドモ、ソレナラ改メテ陸軍ニ御尋ネスル、陸軍デ以テ受恩給ノ資格アリトシテ居ルモノノ内、恩給局ニ行ツテ駄目ニナツテ居ルモノガ凡ソ何割アルカ、病院長ノ證明ガ空文ニナツテ居ルモノガ何割アルカト云フ御答辯ヲ得タイ、私ガ之ヲ尋ネル所以ハ、兵隊ニ嫌喜ビヲサセテ退院サセテ、ペテンニ掛ケチャイカヌ、斯ウ云フコトナノデス、私モ日露戦争ニ一年十箇月從軍シテ、股ヲ撃チ抜カレテ居ル、今デモ時々前ニ轉ガ

ル程ニ私ハハラレテ居ル、戦死シタ者ノ遺族或ハ戦傷シタ本人ト云フモノハ非常ニ感情ガ昂奮スル、一切合財皆捨テテ掛ツテ戦争ニ行ツテ、サウシテ負傷シタ、是カラ先ハ働クニモ容易ナラヌモノガアル、ソレニ持ツテ行ツテ世界第一番ノ誇リト權威ヲ持ツテ居ル所ノ陸軍第三病

院長ガ受恩給ノ見込アリトシテ、證明書ヲ出シテ置イタノニ恩給ガ貰ヘナイト云フコトニナルトベテニ掛ケタト云フコトニナル、思想上ノ問題ニナツテ、負傷者ノ感情上ニ及ボス影響ハ容易ナラザルモノガアル、ソナラ寧ロ吳レズニ置ケバ宜イ、呉レテ居ルガ爲ニ或ハ汽車賃ガ免除サレルトカ割引サレルトカ多少ノコトハアルカモ知レマセヌケレドモ、一方ニ於テハ確カニオ前ノ負傷ハ受恩給ノ資格アリト云ウテ、世界第一番ノ權威アル陸軍第三病院長ガ出シタ證明書ガ空文ニナツテ、ペテンニ掛ケタト云フコトニナツタラ誰ヲ怨ムカ、是ハ一體恩給局ガ惡イノカ陸軍ガ惡イノカ、ココデ以テ判斷セナケレバナラヌガ、陸軍デ凡ソ何割アリマスカ

○古田説明員 陸軍省ノ醫務局長ガ要件ノ爲ニ來テ居リマセヌカラ私ガ代リマシテ申上ゲタイト思ヒマス——只今ノ御話ノ第三病院長ガ出シタモノニ直接關係シマシテノ「プロセント」ハ調査シマセヌト分リマセヌガ、軍全般トシマシテ古田ガ平素取扱ツテ居リマス傷病恩給關係デ、傷病賜金モ貰ヘナイ、恩給局長ニ却下サレルト云フモノハ極メテ少數デゴザイマス、勿論恩給ガ貰ヘナイト云フ公務關係ノ否認サレタ例ハ數十例ゴザイマスガ……

○松岡委員 モツト何割ト云フコトヲハツキリ言ツテ貰ヒタイ、私ハ陸軍ヘ内交渉ヲシテ知ツテ居ルカラ……

○古田説明員 今御話ニナツテ居ル例ハ全然貰ヘナイ例デアリマシテ、先程恩給局長ノ御話ニナリマシタ一款症ガ二款症ニ下ルト云フ「プロセント」ハ又恩給局長カラ御説明ガアルカモ知レマセヌガ、或ル理由ニ依

リマシテ十「プロ」乃至二十「プロ」ト云フマデノ程度ノ問題デアリマスガ、サウ云フコトハ以前カラゴザイマシタ、事變前カラゴザイマシタ、第三陸軍病院長ノ特別ノ問題デハナイト思ヒマス

○松岡委員 第三病院長ノ直接ノ問題デヤナイト云フヤウナ工合ニ仰セラレルト云フト私ハ分ラナクナル、私ノ聞イテ居ル所デハ約二割ダケハ恩給局デ別ネルヤウデアル、恩給局デ二割ダケハ空文ニサセテ居ル、是ハ實際ノ問題デアル、容易ナラヌ問題デアルト私ハ思フ、陸軍ガ傷病兵ニ對スル熱意ガ無イノカ、恩給局デ之ヲ認識スル熱心誠意ガ無イノカ、ドツチカ分ラナイ、之ヲ明カニセヌケレバ、傷病兵ノ爲ニ是ハ許スベカラザル問題デアル、何故斯ウ云フコトヲ私ガ申シマスカト云フト、日露戦争ノ時ニ負傷シタ者ガ恩給ガ貰ヘヌ、其ノ後何遍モ何遍モ體ガ惡イノダカラ、之ヲ癒シテ貰ヒタイト言ウテモ、一向ニ埒ガ明カナイ、ソレデ最後ニ訴ヘル途ガナクテ、私ノ所ニヤツテ來タ、サウシテ日露戦争以後醫者ニ掛ツテ、數十年間醫者ニ拂ツタ費用ヲ全部書出シテ書イテ持ツテ來タ、ソレカラ私ガ私ノ費用デ帝國大學ニ連レテ行ツテ診セテ、ソレデ漸ク増加恩給ヲ貰ツタノガ山形縣北村山郡東根町ニ一人アル、ソレハ増加恩給ヲ貰ツタガ、モウ一人ハ貰ヘナイデ居ル、斯ウ云フ鹽梅デ一番最初ノ診斷ガ誤ル——誤

ツタトハ申シマセヌケレドモ、此ノ位ナラ宜イト云フ工合ニナツテ行ツタノガ、事實サウデヤナイトナリマス、其ノ後ハ手續ガムヅカシイコトハ御承知ノ通りデアリマス、彼處ノ師團ニ行ケ、或ハ此處ノ軍醫長ニ行ケト云フヤウニ、實ニムヅカシイ、實

際陸軍ニ行ツテ見ルト、一人ノ書類デ此ノ位アルデセウ、ソレ程マデニ手ヲ盡シテモ出來ナイ、漸クアレハ直シマシタケレドモ、ソナ工合ニ一番最初ノ出發如何ニ依ツテハ容易ナラザル後日ノ禍ヲ起シテ、折角國家ノ爲ニ御奉公ヲシテ負傷ヲシタ者ガ駄目ニナツテシマフコト云フ其ノ感ジガ、タツタ一人ノ問題カラ其ノ村全般ニ思想上容易ナラス影響ヲ及ボス、此ノ結果ハ簡單ナモノデヤナイ、タツタ一人ノコトデ、アンナ酷イ目ニ遭ハセタコト云フコトニナル、殊ニ山形縣西村山郡川土居村ニアル例ナドハ、一部落デ一人ヲ飼殺シニシテ居ルノガアル、日露戰爭デ負傷シタ者ガ、其ノ後工合ガ惡クナツテ、部落デソレヲ食ハシテ居ル、ソナノモ居ルノデス、國家ノ爲ニ犠牲ニナツタ者ガ斯様ナ工合ニナツタ抑、原因ハ、一番最初ノ軍醫ノ診斷ガ間違ツテ居ツタカ間違ツテ居ラスカ分ラナイケレドモ、其ノ後ニナツテ段段病狀ガ變化スルノデスカラ已ムヲ得ナイノデスケレドモ、ソレヲ土地ノ陸軍病院ニ行キマシレバ、色々方法ハアルコトモ能ク承知シテ居マスケレドモ、ソレハ得テ事實ニ現ハレルコトハ中々ムヅカシイ、是ハ容易ナラスコトナデス、只今ノヤウナ數ヲ申サレレバ澤山ノ數ガアルノデスケレドモ、國民ニ及ボス影響ガ容易ナラスモノガアルカラ、ハツキリシテ貰ヒタイト思フ、今ノヤウナ工合ニ傷病賜金ハ貰ツテ居ル、勿論サウデセウ、受恩給見込アリトシタ者ニ、何ニモ賜金モ呉レナイ、傷病賜金モ呉レナイト云フコトダツタラソレハ大變ナコトデアアル、傷病賜金ハ貰フケレドモ、恩給ニナラナイ、傷病賜金トシテ貰フ金ト、恩給トシテ貰フ金トヲ比ベテ見ルト、金額トシテハ僅カノ

問題デス、片方ハ一遍ニ傷病賜金ヲ貰フ、ソレニ利息モ付イテ來マスカラ段々行クデセウ、片方ハ恩給ヲ貰フノデスカラ、金額ハ少イ、其ノ代リ長イノデス、其ノ間ノ金額ノ差ハホンノ僅カデス、僅カダケレドモ、此ノ人ハ負傷ヲシテ恩給ヲ貰ツタノダト云フ氣持ト、或ハ輕カワツモノダト斯ウ云フコトニ見ラレルコトガ大變ナコトナデス、モウ一ツハ受恩給見込アリトシテチヤント第三病院長カラ貰ツテ行ツタ其ノ證明書ガ役立ツテ、豫メ金ヲ借リル道具ニスルコトモ是ハ當然ダト思フ、ソレヲ擔保ニシテ、斯ウ云フ鹽梅ニ見込書ヲ貰ツテ居ルノダカラト、今マデノ戰爭ニ行ツテ居ル最中ノ借金ヲ返サウトカ何ト云フコトニ使ハレテ居ルコトハ事實ナデス、所ガアベコベニナツテ愈、ノ時ニ恩給ヲ貰ヘナイ、斯ウ云フコトニナルト、計畫ガガラツト變ツテシマフ、ソコデ非常ナ反撥心ヲ起ス、世界一ノ陸軍病院ダト言ツテ居ル第三病院ノ院長トモアラウ者ガ證明書ヲ出シテ、斯ウ云フ風ニナツテシマツタト斯ウ云フ鹽梅ニナルト、影響ガ大變ナデ、ソコデサウ云フコトガ一ツアツタカラ、陸軍ニ私ガ交渉ニ行ツタ時ニ、陸軍次官ノ副官ガ態々私ヲ案内シテ醫務局ニ連レテ行ツテ、之ヲ一ツ何トカシテ貰ハナケレバナラスト言ツテ陸軍次官ノ方ノ側デハ、恩給局ノ方ニシツカリ松岡サン交渉シテ呉レト私ハ頼マレテ居ル、本當ノコトデアアル、本當ハ二割カラペテンニ掛ケルヤウナコトヲサレル、陸軍トモアラウモノガ面目上ノ問題ダト思フ、陸軍ガ熱意ガナイト云フナラ、陸軍ヲ攻撃スルノダケレドモ、陸軍ハ一生懸命ヤツテ恩給局ガ聽カナイト云フノデスカラ、其ノ理由ヲ明ニシ

ナケレバナラス、今ノヤウナ工合ニ、アレ程一生懸命ニナツテ來テ居ルノデスカラ、傷病賜金ヲ呉レルナラバ受恩給ノ見込アリトシテ出シタモノヲ、第三病院長ノ證明書ヲ空文ニサセナイヤウナ工合ニ溫カイ氣持デ取扱ツテ呉レナイト、恩給ヲ貰フヤウナ者ハ決シテ其ノ以後良クナル氣遣ヒハナイ、年ヲ取ルニ從ツテ、段々私等ノヤウニ老後ニナツテ方々痛クナルノハ當リ前ダケレドモ、負傷シタ者ハ段々惡クコソナレ、良クナル氣遣ヒハナイ、ソレダカラ餘程溫カイ氣持ヲ以テ扱ツテ呉レナケレバ、タツタ一人ノ爲ニ一村、一郡、一縣ニ及ボス思想上ノ影響ハ、兵役問題ト關聯シテ容易ナラス問題デアアルカラ御尋ネスル、此ノ點宜シク御汲取下スツテ恩給局ニ於テハ今後陸軍第三病院長ノ證明シタ所ノ受恩給ノ見込ニ對シテハ百パーセント全部之ヲ容認スルト云フヤウナ所マデ行カスケレバ嘘デヤナイカ、ソレデナケレバ陸軍第三病院ハ世界第一ノ陸軍病院デヤナイ、斯ウ云フコトニナル、ドツチガ宜イノカ、ハツキリシテ戴キタイ

○平本府委員 御質問ノ趣旨ハ能ク分リマシタ、只今ノ御質問ニ依リマスルト、結局增加恩給ノ問題デアルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ増加恩給ノ例ヘバ第五項ガ第六項或ハ第七項ニ内申ラシタ、其ノ場合ニ恩給局ノ方デ増加恩給ニ該當シナイ、傷病年金ニ該當スル、傷病年金ノ第一款ダ、斯ウ云フヤウナ裁定ヲスル場合、是ハアリ得ルダラウト思フ、其ノ數ト云フノハ今仰シヤイマシタ數デハアリマセス、是ハ極メテ少數デアリマスガ、斯ウ云フ者モナイ譯デハアリマセス、只今仰シヤイマシタ「パーセント」ハ先刻カラ申上ゲマシヤウニ、增加恩給ノ中デ或ハ第一項ガ第二項ニ、第二項ガ第三項、或ハ傷病年金デ一款ガ二款、二款ガ三款ニナル、斯ウ云フモノヲ全部合セタ數字デヤナイカト思フ、尤モ正確ナコトハ分リマセスガ、大體サウデヤナイカ、ソレハソレト致シマシテ、陸軍病院ノ診斷ト恩給局ノ裁定ガ非常ニ違フ、是ハドウ云フ譯カ、ドチラガ惡イ、ソレヲ明カニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御意見ノヤウデゴザイマシタ、此ノ點ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタ通り、病氣ト云フモノハ一人々々違フ、何万人ト居リマスレバ、一々違フト云ツテモ宜シイト思フ、ソレヲ十六區分ニ分ケテ居ルノデアリマスルカラ、ドウシテモ境ノモノノ其ノ他ノモノニ於キマシテ意見ガ違フト云フコトモ是ハドウモ已ムヲ得ナイダラウ、併シ已ムヲ得ナイト云ツテ私共ノ方デ之ヲ決シテ其ノ儘ニシテ居ル譯デハナイ、併シ病院ノ方ハ専門方ノ方ガ、私ハ能ク存ジテ居リマスルガ、色々研究シテ居ラレマス、決シテ好加減ナコトヲヤツテ居ル譯デハアリマセス、私ノ方デモ御承知ノ通りニ、東大ノ先輩ノ外科鹽田博士、内科ト致シマシテハ稻田博士、慶應病院ノ西野博士、斯ウ云フ日本ノ謂ハバ醫學ノ先輩ノ方ヲ集メマシテ、特別ノ病氣ニ付キマシテハ其ノ鑑定ヲ求メマシテヤツテ居ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、ドチラガ宜イカ惡イカト言ハレマシテモ、色々意見モアル問題モアリマスルシ、今度ノ支那事變ノヤウナ問題ニナリマスルト色々今マデ先例ノナイヤウナ、今マデ何處ニモ入ツテ居ナカツタヤウナ病氣モ出デ参リマス、サウ云フ關係デ意見ガ違フトモアルダラウ、

施設ニ於テ相當具體的ノ工夫ヲシテ參ラナケレバナラヌト云フコトハ御同感デゴザイマス、隨テ其ノ科ノ内容ヲ充實シテ參リマ

スル爲ニハ、御話ノヤウニ相當ノ經費モ要スルコト考ヘテ居リマス、併シ町村ノ財力ノ關係モアリマス、隨テ之ヲ有效適切ニヤル爲ニ、國庫ニ於テ相當助成ヲスル必要ハアルデアラウト云フコトヲ痛感致シテ居

リマス、唯來年度ニ於キマシテハ、相當實ハサウ云フ工夫、研究ハ致シテ、豫算上ニ於テモ相當考ヘテ見マシタケレドモ、遺憾ナガラ來年度ニ於テハ直チニ之ヲ實現スル運

ビニハマダ參リマセヌデゴザイマス、之ヲ必修正シテ、初等科殊ニ上級ノ高等科ニ於キマシテ科目ガ充實サレル時マデニハ、是非何トカハ只今御話ノヤウナ意味ニ於テ其ノ内

ノ效果ヲ擧ゲル上ニ於テノ運用ニ付テ關係者ヲ集メマシテ、絶エズ研究ヲ進メテ居ル

次第デゴザイマス、出來ルダケ只今ノ御話ノ點ハ次年度以後ニ於テハ實現スルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○庄司委員 本年度ダケハ出來サウモナイガ、來年度ハ固イ決心ヲ以テ實現シタイト云フ御答辯ニ付テハ諒承致シマスガ、此ノ

藝能科ノ工作室ノ擔當教員ハ少クトモ専門的ノ技能ト知識ヲ持ツテ居ル教員デナケレバナリマセヌ、アメリカノ雜誌等ヲ見マス

ルト、「アメリカ」ノ小學校ノ生徒デ「ラデオ」ノ分解竝ニ組立ヲヤリ得ル者ハ生徒百人ノ中ニ於テ八十「パーセント」デアル、又自動車

或ハ「オートバイ」ノ分解組立ヲナシ得ル者ハ中等學校ニ於テハ九十「パーセント」ニ相成ツテ居ル、所謂文部大臣ノ言葉ヲ藉リテ

言フナラバ科學スル心ガ左様ニ彼等ハ向上シテ居ル、サウ云フ國民ニ我ガ國民ハ負ケテハナリマセヌ、我ガ國ノ青少年教育ニ於

テ「アメリカ」ノソレニ斷ジテ負ケテハナラヌノデアリマス、勝タネバナラスノデアリマス、ソレニハ師範學校ヲ出ラレタ「ノーマル」ノ教員デハ工作室ノ專任教員トシ

テ適當デナイコトハ文部省御承知ノ通りデアリマス、只今官立ハ勿論ノコト、府縣立、市立ノサウ云フ工業學校ト云フヤウナモ

ノ卒業生ハ凡ユル方面ニ引張ルデアリマス、或ハ割當ヲ以テ引張ラレテ居ル、全國デ約二萬ニ近イ國民學校ノ假ニ半分ガ工作

室ヲ設備スルト致シマシテ、ソレ等ノ專任教員ヲ那邊ヨリ求ムル所ノ準備ヲ持タレテ居ルカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○菊池政府委員 只今御話ノヤウニ此ノ教育ノ實ガ舉ルカ舉ラスカト云フコトハ結局

教員ノ如何ニ依ルコトデアリマス、隨ヒマシテ一面ニ於テハ教員ノ養成ヲ考ヘナケレバ

ナリマセヌ、同時ニ現在居ル教員ノ質ノ向上ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、

御承知ノヤウニ此ノ高等小學ガ義務教育トナツテ教育年限ガ延長セラレ、其ノ實現ヲ見マスノハ昭和十九年度以降デゴザイマ

ス、隨ヒマシテ其ノ前ニ所要ノ教員ノ充足ヲ圖ル爲ニ募集人員ヲ増シマシテ、教育ヲ養成シ、需要ニ應ズル方法ヲ考ヘテ參リタ

イト存ジテ居リマスガ、同時ニ昨年ノ議會ニ於テ御協賛ヲ得マシテ、實ハ本年度カラ

國民學校實施ニ伴フ所ノ教員ノ質ノ向上ト云フ點ニ付キマシテ再教育ノ施設ヲ講ジテ

居リマス、是ハ十五年度カラ五年間ニ互リマシテ、全國教員ノ約半數十五萬人バカリヲ

制度徹底ノ意味ヲ以テ教員ノ再教育ヲ實行シマス、取敢ズサウ云フコトヲ考ヘテ居

リマスガ、只今ノ庄司サンノ御話洵ニ御尤モデ、是ハ尙ホ追ツテ且ツ速カニ考究シナ

ケレバナラス師範教育改善ト云フ問題トモ關聯シテ來ルト考ヘマス、來年度ニ於キマ

シテハ豫算ニモ其ノ調査費ガ計上サレテアリマスガ、來年極力其ノ師範教育制度ノ根

本的改善ニ付テノ調査ヲ進メマシテ、サウシテ出來ルダケ速カニ師範教育改善ノ實ヲ

制度上、運用上ニ於テ實現シテ行キタイ、左様ニ只今ノ所考ヘテ居リマス

○庄司委員 只今ノ教員ノ臨時養成等ニ付キマシテハ了承致シマシタ

其ノ次ハ小學校教員竝ニ青年學校教員等ニ對シマシテ、物價暴騰ノ結果、其ノ俸給

モ安直ナ關係上、生活不安ニ基イテ、後レ馳セナガラ文部省ハ教員ニ臨時家族手当ト

云フ名前ノ下ニ昨年ノ十月ヨリ起算ラシテ

之ヲ支給サレルコトニナリマシタコトハ、時機ガ遅レテ居リ、又其ノ額モ甚ダ少額デ

アルガ、ナキニ優ツテ洵ニ結構ナコトデア

ルト考ヘテ居リマス、是等ハ道府縣關係ニ於キマシテハ、學務部長竝ニ總務部長ノ兩

名ノ名ニ依ツテ市町村長竝ニ小學校長、青年學校長等ニ通牒ガ入ツテ居リマス、其ノ

條項ヲ一々讀ミマス徒ラニ時間ヲ空費致シマスカラ、結論ヲ申上ゲマス、要スルニ

小學校竝ニ青年學校教員ノ扶養家族一人ニ付テ政府ガ一圓ヲ出スカラ、オ前方町村モ一圓出セ、合計二圓デヤリタイ、扶養家族五人

ノ場合ニハ詰リ十圓ヤルコトニナリマスガ、是ハ只今地方町村ニ對シテ大キナ旋風ヲ起シテ居ルノデアリマス、ト云フノハ先程モ一寸片鱗ヲ申上ゲタヤウニ、地方町村ノ豫

算ハ監督官廳デアル道府縣ノ地方課ヨリ極度ニ壓縮サレテ居ル、而モ年度ヲ終ラント

スル今日此ノ頃、宮城縣ニ於テハ昭和十六年一月二十日ノ町村長ニ對シテノ通牒デア

リマス、豫算ハ大體使ヒ果シテ二分モ殘ラヌト云フ言葉ガアリマスルガ、今頃ニナツ

テ斯ウ云フ通牒ヲ出サレ、町村ノ方デハ豫算ノナイ所ヲドウ云フ點ヨリ捻出シテ、政府ノ御趣旨ニ協力シタナラバ宜イカ、洵ニ迷

ウテ居ルノデアアル、一方ニ於テハ豫算ヲ壓縮シ、一方ニ於テハ裁カテ棒ニ、天降リ的

ニ、突如トシテ斯ウ云フコトヲ仰シヤツテ來ル、町村長ナドハヤハリオ上ノ命令ヲ能

ク守ツテヤルモノデアリマスルガ、此ノ爲ニハ臨時ニ町村會ヲ召集シナケレバナラナ

イ、町村會ヲ召集スルニハ多少ノ經費モ掛ル、ソレカラ特別戸數割ノ代リニ稍、合理化サレタ所ノ市町村民稅ト云フ稅ヲハ増ス

譯ニ行キマセヌカラ、地租其ノ他ノ附加稅

關係ニ於テ百分ノ二百四十マデノ許可ノモ

承ツテ置キタイト思ヒマス

○中野(善)政府委員　只今ノ御質問ハ全ク

シテ、此ノ零細ナ金ヲ集メナケレバナリマセヌ、ドウシテコンナ天降リ的ナ、一方的ナコトヲ突如トシテヤラレルモノデアルカ、私ハ其ノ根本ノ御精神ガ分ラナイ、教員ノ生活ヲ救ハンガ爲ニオヤリニナル、出發點

御同感デアリマシテ、文部當局卜致シマシテハ、只今御質問ノ中ニ御述ベニナリマシタ御意見ノ通りノ計畫デ實ハ進ミタイ、即チ教員ノ臨時家族手當ニ付キマシテハ、扶養家族一人ニ付テ二圓ノ割合デ、最高十圓

迷惑ニナルコトモ出來ナイカト、此ノ點ヲ考ヘマスト、非常ニ痛シ痒シノ所ガアリマシテ心配ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、調査ノ結果ハ分リマセヌガ、只今ノ御事情ハ能ク了解シテ居リマスノデ、將來ニ於キマシテサウ云フ不都合ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 文部當局モ正シイ理解ヲ持タ
レテ善處サレルト云フ御答辯ノヤウデアリ
マスカラ了承致シマシタ

尙ホ小學校教員、青年學校教員ノ勅令ニ
依ル共濟組合ノ實施等ニ對シテモ詳細述ベ
タイノデアリマスケレドモ、成ベク時間ヲ
獨占シナイ意味ニ於テ詳細ニ申上ゲマセヌ
ガ、文部當局ノ此ノ上トモ善處ヲ要望シテ

置キマス、共済組合關係ニ付キマシテ、最モ合理的ナ運営ヲ市町村ト御協力ノ上ヤツテ欲シイト云フ希望ダケヲ述ベテ置キマス

第三ニ伺ヒタイノハ、青年學校ノ教育關

係ノ問題デアリマシテ、資料トシテ御要求
ヲ申上ゲ、手許ニ到著シテ居ル此ノ資料ヲ
拜見致シマシテモ、全國一万六千餘ノ青年學
校教職員ノ初任給ト云フモノハ四十八圓ノ
御報告ニナツテ居ル、而シテ青年學校專任

待遇ガ悪クナルノデアリマス、平均ニ於テ五十八圓五十四錢デアル、私ハ宮城縣ニ於テ或ル青年學校ノ教員ト一問一答ヲヤリマシタ、アナタハ青年學校ノ先生ニナラレテ何年ニナルカト云フコトヲ聴キマシタラ、實業補習學校時代ヨリ丁度二十年盡力致シマシタ、アナタノ初任給ハ幾ラデアリマシカ、二十八圓デアリマシタ、現在ドノ位頂戴サレテ居ルカト言ヒマシタ所ガ、本俸五十五圓デアルト其ノ先生ハ暗イ額ヲシテ私ニ答ヘラレマシタ、二十年勤続シテ五十五圓デアリマス、二十年勤続シタ人デアラカラ、家庭ニ於テハ妻子四五名ノ家庭ニナツテ居ルコトハ推察ニ難クアリマセヌ、二十年勤続シテ五十五圓、斯クノ如キコトハ政府ニ於カレテ能ク御賢察ヲ賜ハリタイ、小學校教員、青年學校教員ノ生活ハ、斯クノ如ク酷薄ナル待遇ニアツテ、而モサウ云フ先生方ハ口ニハ不平不満ヲ言ヒマセヌ、默々トシテ國民教育ノ爲ニ奮勵サレテ居ル諸君デアアル、度々教育者ニ賜ハル所ノ勸語、特ニ小學校教員ニ對シテ賜ハリタル所ノ昭和九年カノ御勸語ノ精神ヲ守ツテ、教員諸君ハ不平不満ナク働イテ居ル、ドンナニ待遇ガ惡クテモ不平不満ヲ言ツタリ「ストライキ」ナドヲスルヤウナコトハアリマセヌ、小學校教員ノ待遇改善ニ付テハ、只今申上ゲタヤウニ議員聯盟ノ方デ決議ヲ申上ゲテ、文部大臣ニ於テモ職ヲ賭シテモト云フヤウナ意味ノ御答ヘガアリマシタノデ、洵ニ満足ヲシテ居ルノデアリマスルガ、ソレヲ實現シテ貰ハナケレバナラス、特ニ青年學校關係ニ於キマシテハ、今申上ゲルヤウニ、小學校教員ノ待遇改善ト同様ニ、同時ニ斷行シテ戴キタイ、ソレニハ此ノ國庫ノ補助金ノ六

百四十萬圓ト云フヤウナ額デハ何モナリマセヌ、少クトモ青年學校專任教員俸給ノ半額以上ノ國庫補助デナケレバ、青年學校教員ト云フモノヲ道府縣或ハ市町村ニ於テ優遇スルコトガ出來ナイノデアリマス、青年學校教員ノ初任給ハ小學校教員ノ初任給ヨリモ平均ニ於テ五圓安イノデアリマス、實額支給額ニ於テモ同様五圓カ七圓安イノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、青年學校教員ノ待遇ニ付テ、或ハ全額國庫負擔法ヲ制定シテ貰ヒタイト云フヤウナ私ノ希望ト要請ニ對シテ、文部當局ハ如何ナル御意見御計畫ヲ御持チデアラカ、極ク簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御伺ヒ申上ゲタイと思ヒマス

ナラヌト考ヘマス、唯御承知ノ通り國ノ財政モ中々容易ナラヌト思ヒマスガ、併シナガラ、國民學校並ニ青年學校ハ、謂ハバ國策遂行ノ根本基礎ヲ成スモノト考ヘラレルノデアリマス、隨テ國家トシテ之ニ重大ナ關心ヲ以テ臨ムト云フコトハ當然デアルト考ヘマス、唯目下御承知ノヤウニ青年學校ノ義務制ガ實行セラレテマダ途中デゴザイマス、ヤツト來年度ニ本科ガ義務制ノ第一歩ニ入ツテ來ルヤウナ狀況デアリマス、此ノ義務制ノ施行ト相俟ツテ、只今御話ノアリマシタヤウナ國庫補助ノ増額、或ハ進ンデハ國民學校ト相並ンデ考ヘラレル制度ト致シマシテ、國庫負擔法ト云フヤウナコトハ當然考ヘラレルベキコトデアルト私モ感じテ居リマス、財政等ノ狀況ヲ見マシテ、何トカハ迅速カニ實現致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

養護婦ト云フモノヲ全國二萬ニ近イ小學校ニ普遍化シタイ、特ニ無醫村等ノ關係ニ於テハ、小學校兒童ノ外傷或ハ手術或ハ寄生蟲ヲ驅除スルコト云フヤウナ簡單ナコトハ、此ノ養護婦ト云フモノヲ活用スルコトニ依ツテ出來ルノデアリマス、是ハ小學校兒童ノ保健衛生ノ爲ニ、體位ヲ向上サセル一助トナルノデアリマスガ、噂ニ聞ケバ今回ノ國民學校令ノ中ニ含メラレテ、養護指導トカ云フ名稱ノ下ニ愈、御開始ヲ願フト云フ喜バシイ訪レヲ聞イテ居リマスルガ、果シテドウ云フ御計畫ノ下ニ、又町村等ニ於テハ年ノ吾々ノ要望ヲ實現シテ下サルノデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ申上ゲテ置キマス

○菊池政府委員 今回ノ國民學校制度ヲ改善シタ一ツハ、體位向上ノ問題ニ非常ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ教育ノヤリ方ニ於キマシテモ、教授、訓練、養護ト云フモノヲ一體トシテ、人格鍊成ニ十全ヲ致スト云フコトニ重點ヲ置イテ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ制度ノ改正ニ當ツテハ、只今御話ガゴザイマシタ市町村ニ置イテオカレマス所ノ養護婦ノ地位ヲ法令上ニ於テ明確ニスル必要ガアルト云フコトヲ先ヅ第一ニ考ヘマシテ、今回ハ法令ノ上ニ於キマシテ養護ヲ擔當スル訓練デアルト云フ意味ヲ以テ、之ヲ養護指導ト云フ風ニ名稱モ明カニシマシテ、サウシテ學校ニ於ケル、又制度上ニ於ケル地位待遇ノ明瞭ニ規定スル考ヘヲ以テ今進ンデ居リマス、其ノ通り實現ニナルト考ヘテ居リマス、即チ國民學校令ノ中ニ明示シテ、サウシテ其ノ設置ノ趣意ヲ明カニシテ參リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ將來其ノ設置ニ付テ獎勵ヲ

○菊池政府委員 洵ニ御熱心ナル御高見ヲ承リマシタ、小學校教員並ニ青年學校教員ノ今日ノ現狀ニ於テ待遇ガ稀薄デアアル、稀薄デアアルニモ拘ラズ能ク不平不満モ唱ヘズ國家ノ爲ニ精進シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、私共モ全ク多大ノ敬意ヲ拂ツテ感激致シテ居ルノデアリマス、然ルガ故ニ益、其ノ待遇ノ改善ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトハ痛感致シテ居リマス、今御述ベニナリマシタヤウニ、文部大臣初メ非常ナ決意ヲ以テ是ガ善處ヲ致シタイ目下考ヘテ居リマス、殊ニ只今御話ノゴザイマシタ青年學校ノ專任教員ノ待遇ノ問題、並ニ青年學校ノ教育充實ノ爲ニ專任教員ヲ一層充實シナケレバナラス今日ニ於キマシテ、其ノ十全ノ途ヲ講ズルト云フコトハ最モ必要ダト考ヘテ居リマス、今日ノ財政狀況カラ申シマシテ、市町村ノ財政ハ中々困難ト考ヘマス、隨テ出來ルダケ國庫ニ於テ適切ナル補助ヲ増シテ、相協力シテ行カナケレバ

ナラヌト考ヘマス、唯御承知ノ通り國ノ財政モ中々容易ナラヌト思ヒマスガ、併シナガラ、國民學校並ニ青年學校ハ、謂ハバ國策遂行ノ根本基礎ヲ成スモノト考ヘラレルノデアリマス、隨テ國家トシテ之ニ重大ナ關心ヲ以テ臨ムト云フコトハ當然デアルト考ヘマス、唯目下御承知ノヤウニ青年學校ノ義務制ガ實行セラレテマダ途中デゴザイマス、ヤツト來年度ニ本科ガ義務制ノ第一歩ニ入ツテ來ルヤウナ狀況デアリマス、此ノ義務制ノ施行ト相俟ツテ、只今御話ノアリマシタヤウナ國庫補助ノ増額、或ハ進ンデハ國民學校ト相並ンデ考ヘラレル制度ト致シマシテ、國庫負擔法ト云フヤウナコトハ當然考ヘラレルベキコトデアルト私モ感じテ居リマス、財政等ノ狀況ヲ見マシテ、何トカハ迅速カニ實現致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○庄司委員 小學校並ニ青年學校關係等ニ於キマシテ、全國ノ市町村ニハ無醫村ガ三千二百アルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、無醫村デナクテ學校醫師ガ設置サレテ居リマシテモ、此ノ學校衛生婦ノ——是ハ近年養護婦ト云フ言葉デ呼バレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ養護婦ハ參考資料ニ依リマス、全國ニ約四千名程現在ニ於テアルヤウニナツテ居リマス、此ノ養護婦ノ問題ハ多年ノ懸案デゴザイマシテ、是非小學校ニ此ノ養護婦ヲ設置シタイ、町村ニ於テハ町村費支辨ニ於テ設置ハシテ居ルケレドモ、全額町村ノ支辨ナルガ故ニ、財政困難ナル所ノ中程度以下ノ町村ニ於テハサウ思ヒナガラモ養護婦ヲ設置スルコトガ出來ナイト云フ狀況ニアルノデアリマス、文部省ノ助成或ハ補助等ヲ得テ、是非此ノ

○菊池政府委員 今回ノ國民學校制度ヲ改善シタ一ツハ、體位向上ノ問題ニ非常ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ教育ノヤリ方ニ於キマシテモ、教授、訓練、養護ト云フモノヲ一體トシテ、人格鍊成ニ十全ヲ致スト云フコトニ重點ヲ置イテ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ制度ノ改正ニ當ツテハ、只今御話ガゴザイマシタ市町村ニ置イテオカレマス所ノ養護婦ノ地位ヲ法令上ニ於テ明確ニスル必要ガアルト云フコトヲ先ヅ第一ニ考ヘマシテ、今回ハ法令ノ上ニ於キマシテ養護ヲ擔當スル訓練デアルト云フ意味ヲ以テ、之ヲ養護指導ト云フ風ニ名稱モ明カニシマシテ、サウシテ學校ニ於ケル、又制度上ニ於ケル地位待遇ノ明瞭ニ規定スル考ヘヲ以テ今進ンデ居リマス、其ノ通り實現ニナルト考ヘテ居リマス、即チ國民學校令ノ中ニ明示シテ、サウシテ其ノ設置ノ趣意ヲ明カニシテ參リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ將來其ノ設置ニ付テ獎勵ヲ

致シタイト考ヘテ居リマスガ、又一方是ガ養成ニ付テモ意ヲ用ヒナケレバナラス、是ハ府縣ニ對シテ養護婦ノ養成ニ付テ必要ナ施設ヲ講ゼシムルヤウニ十分連絡ヲ執ツテ養成シテ参リタイ左様ニ考ヘテ居リマス、

○庄司委員 尙ホ最後ニ御尋ネシタイノハ、小學校教員並ニ青年學校教員ノ精神の優遇モ亦此ノ議論聯盟ガ要望シテ居ルノデアリマスガ、地方ニ於テハ斯ウ云フ矛盾ガアルヤウデアリマス、現在在任官待遇ノ者ハ學校長ニ於テ八千名カラアルト云フコトヲ聞

質問ガゴザイマシタ、現在ノ制度ニ於キマシテハ奏任待遇ニナシ得ルノ途ハ校長ニ限ラレテ居ルノデゴザイマス、而シテ其ノ人數モ大體八千人程度デゴザイマス、是ハ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、土地ノ事情狀況ニ依リマシテ、或ハ僻村トカ、或ハ六大都市トカ、土地ニ依ツテ非常ニ學校ノ定員モ規模モ違フ關係モアリマスシ、隨テ校長ダケデナク、他ノ訓導ニモ其ノ奏任待遇ノ範圍ヲ擴メテモ宜クハナイカト云フヤウ

居リマシテ、其ノ規定上ノ運用ハ只今御話ノゴザイマシタ小野訓導其ノ他殉職セラレタ者ニ對シテ、文部大臣カラ其ノ功勞ヲ稱ヘテ、其ノ生前ニ於ケル勳功ニ報ユルト云フ施設ハアリマスケレドモ、併シハ御話ノヤウニモツト廣イ大キナモノニシタラ宜クハナイカト考ヘマスガ、是ハ宮内省初メ内閣其ノ他各省色々ノ點ニ關係モ持ツテ参リマスノデ、是ハ一ツ十分研究ヲ致シタイト思ヒマス、又出來ルダケ御趣意ヲ奉ジテ御趣旨ノ點ニ副ヒ得ルヤウナ何等カノ施設ヲ考ヘテ見タイ、實ハサウ云フ考ヘハ持ツテ居リマス、左様御諒承願ヒマス

イテ居リマスガ、ドウモ校長ダケヲ高等官待遇、奏任官待遇トシテ優遇スル傾向ガアリマス、戸數三百戸位ノ村ノ校長ガ奏任待遇ニサレテ、例ヘバ仙臺市ノヤウナ人口約三十万ノ大都市ノ小學校ノ、中等學校デ言

ニ於テモ、文部省トシテハ何カ御考ヘガナイモノデアリマセウカ、是ハ實ニ尊イノデアリマス、私ノ地方デモ有名ナ小野訓導ト云フノガアリマスガ、職ノ爲ニ、兒童ノ生命ヲ救ハンガ爲ニ、自分モ共々殉職サレタヤウナ美談ニ至リマシテハ國家ガ之ヲ選奨シ之ヲ表彰シナケレバナラスト思ヒマス、是ハ實ニ私ハ尊敬シナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、サウ云フ責任觀念ノ上ニ總テノ小學校教師モ青年學校教師モ立ツテ居ルノデアリマス、吾々議員モ、政府委員ノアナタ

全體的ニ人格鍊成ノ纏メヲ付ケルト云フ意味ニ於キマシテハ、教育ノ實際運用ニ於テハ非常ニ骨ガ折レルノデゴザイマス、其ノ教育方針ヲ一定シテ運用ノ統一徹底ヲ圖ルト云フ意味ニ於キマシテハ、校長ニ次イデ、校長ヲ助ケル役目ヲ果サユウナ意味ニ於テ教頭ト云フヤウナモノヲ考ヘマシテ、今回ノ改正ニ於キマシテハ教頭ト云フ制度ヲ置クヤウニ致シテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ教頭ノ或ル者ハ之ヲ奏任待遇ニナシ得ルト云フ途ヲ開イテ行キタイ、左様ニ考ヘマシテ今回ノ奏任待遇ノ範圍ヲ廣クシ、又訓導中カラモ奏任待遇ニナシ得ル途ヲ開ク、サウシテ全體ノ奏任待遇ノ數ヲ約二倍カラ三倍位ニデモ擴メテ行キタイ、左様ニ考ヘテ居リマス

○庄司委員 私は是デ質問ヲ終リマスケレドモ、實ハ文部大臣ニ伺ツテ見タイト云フ最後ノ一ツノ項目ガゴザイマスガ、御見エニナリマセウカラ次官ヨリ御傳ヘ置キヲ願ヒマシテ、適當ナル御答辯ノ機會ガアリマスナラバ、文部大臣ヨリ直接御答辯ヲ得タイコトガ一項目ダケゴザイマス、ソレハ東亞共榮圈ニ於ケル文化教育ノ進展上我ガ大日本帝國ノ文教ノ府デアル所ノ文部省、詰リ我ガ政府ハ如何ナル施設方針ヲ以テ此ノ大東亞ノ文化教育上ノ指導誘掖ヲナサレント準備サレテ居ルノデアルカ、如何ナル計畫ヲ持タレテ居ルノデアルカ、其ノ御計畫ガアレバ——當然アルト思ヒマスガ、其ノ御計畫或ハ其ノ御準備ヲ具體的ニ拜聽ヲシタイノデアリマス、戰爭始ツテ以來二三度皇軍慰問ノ爲ニ北支或ハ南支ニ行ツテ見マシタガ、南支地方ニ於テ南支軍ガ臺灣ヨリ農業技術員ヲ招致致シマシテ、臺灣米詰リ蓬萊米ト在來ノ支那ノ廣東米トヲ比較研究的ニ肥料モ何モ掛ケズニ植付ケマシテヤツテ見タ所ガ、蓬萊米ノ方ハ二

ヘバ教頭、主席或ハ第二第三席程度ノ教職員ハ、小サナ村ノ學校長ヨリモ練達堪能ノ點ニ於テ、或ハ識見、或ハ教育者トシテノ鍛鍊カラ言ヒマシテ、數等先輩ノ諸君デアリマシテモ、校長デナイガ故ニ高等官待遇ヲ受ケ得ナイ立場ニアルヤニ、地方ノ第一線部隊ニ於テ吾々ハ常見テ居ツテ、其ノ矛盾ト滑稽ヲ考ヘサセラレテ居ルノデアリマスガ、教員諸君ヲ精神的ニ優遇スル爲ニハ、若シ過去ニ於テ當局ニモサウ云フ叙位叙勳上或ハ待遇上ノ誤リガアルナラバ、率直ニ是正シテ行クコトガ妥當デハナイカト考ヘテ居リマスガ、當局ノ御意見ハ如何デゴザイマスガ、ソレカラ其ノ奏任待遇ノ範圍ヲ擴大スルト云フコトニ付テノ御意見ハ如何デアリマスガ、ソレカラ明治五年學制發布以來或ハ川ニ溺レントスル兒童ヲ助

今日アルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘル時ニ、精神的の方面ニハモツト深刻ニ尊敬スル所ノ具體的ナル方策ヲ立テナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、大阪城ノ前ニ教育塔ト云フ塔ガアツテ、其處ニ殉職サレタ教員ノ英靈ヲ祭ラレテ居ルカラ、ソレダケデ宜イト云フノデアツテハナラス、是ハ私ハモツト考ヘラレネバナラスコトデアリ、又考ヘサセナケレバナラナイト思ツテ居リマスガ、文部省トシテハ如何デゴザイマセウカ

規程ト云フモノガ文部省ニ於テモ定マツテ

付ケマシテヤツテ見タ所ガ、蓬萊米ノ方ハ二

ハ震災ノ爲ニ、兒童ヲ救ヒ、兒童ヲ愛護セ

○菊池政府委員 只今精神的の優遇ニ付テ御

規程ト云フモノガ文部省ニ於テモ定マツテ

付ケマシテヤツテ見タ所ガ、蓬萊米ノ方ハ二

ハ震災ノ爲ニ、兒童ヲ救ヒ、兒童ヲ愛護セ

○菊池政府委員 只今精神的の優遇ニ付テ御

規程ト云フモノガ文部省ニ於テモ定マツテ

付ケマシテヤツテ見タ所ガ、蓬萊米ノ方ハ二

ハ震災ノ爲ニ、兒童ヲ救ヒ、兒童ヲ愛護セ

○菊池政府委員 只今精神的の優遇ニ付テ御

規程ト云フモノガ文部省ニ於テモ定マツテ

付ケマシテヤツテ見タ所ガ、蓬萊米ノ方ハ二

割五分モ餘計獲レタノデアリマス、シレカラ

肥料ヲ掛ケマシタ場合ニ於テ在來ノ支那ノ
廣東米ヨリ五割多ク獲レテ居リマス、斯ノ
如キコトハ支那人諸君ニ對シテ我ガ國ノ農
業教育、農業技術ガ如何ニ進歩シテ居ルカ
ト云フコトヲ如實ニ示シ得ル所デアリマシ
テ、斯ノ如キハ農業文化ノ上カラ見マシテ
モ、我ガ國ノ農業教育ヲ信頼サセル上カ
ラ行キマシテモ、對支工作ノ上カラ見マシ
テモ——工作ト言ヒマス、何カ利己的ノヤ
ウニ考ヘラレマスガ、支那同胞諸君ニ幸福
ヲ與ヘル意味ニ於テ色々積極的ニ文部省ト
シテモ教育ヲ通シテ、或ハ實業教育ヲ通シ
テ、或ハ宗教其ノ他文化ヲ通シテ、獨リ對
支關係タケデハゴザイマセス、大東亞諸國
ニ對シテ我ガ國ガ文教ノ府ヲ通シテ教育ヲ
通シテ福利増進ヲ與ヘルト云フコトガ我ガ
日本帝國ノ本當ノ八紘一字ノ精神デナケレ
バナラス、其ノ爲ニ文部省トシテハ如何ナ
ル御準備ヲ御計畫ヲ御持チニナツテ居ルノ
デアリマスカ、是等ニ付テ適當ナ機會ガア
リマシタナラバ、大臣ヨリ直接御答辯ヲ承
ツテ置キタイト思ヒマス、私ノ質問ハ之ヲ
以テ終リマス

○林委員長 次ハ本田サンデゴザイマスガ、

行刑局長ガ御見エニナツテ居ラレマスカ
ラ、ドウゾ御質問ヲ願ヒマス

○本田(英)委員 ソレデハ司法省關係ノ方

ヲ先ニヤリマシテ、午後ニ其ノ他ヲ……世
間ニ人權蹂躪ノ聲ノ多クアガルノハ主トシ
テ刑務所、裁判所ノ未決ノ控室或ハ警察署
ノ控室等ノ設備ニ關聯シテ發セラレルノガ
多イヤウデゴザイマスルガ、司法當局ハ是
等ノ設備其ノ他ニ對シマシテ改善ノ御意向
ガアルカドウカ、行刑局長ノ御意見ヲ承リ

タイト思ヒマス

○金澤政府委員 只今御示シノ通り、從來
色々トサウ云フ風ナ設備ニ付キマシテ兎角
非難ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、其ノ度
毎ニ當局ニ於キマシテハ常々斯様な問題ヲ
起サナイヤウニ、又サウ云フ疑ヒノナイヤ
ウナ方針デ改善ニ努力致シテ居リマス

○本田(英)委員 行政執行法ニ依ル留置又

ハ承諾留置ノ場合デモ其ノ主眼トスル所ハ
證據湮滅カ逃亡ト云フ點ニアルノデスカラ、
成ダケ外部トノ連絡ヲ斷ツト云フコトニ主
眼ヲ置カレテ、サウシテ取調セラレルト
云フコトニナレバ、自然人權蹂躪ト云フ聲
モ細ルコトト思ヒマス、ソレニ付テハ警察
内ニ斯ウ云フ法律ナリ命令ノ下ニ警察官ガ
嫌疑者ヲ引張ツテ行ツテ、何日モ留メ置ク
ト云フコトニ非難ノ原因ヲ發シテ居ルト思
フノデアリマス、就デハ是等ニ對シマシテ
ハ何トカ簡易ナル方法デ刑務所ノ出張所ト
カ何トカ云フヤウナモノヲ置イテ、看守ヲ立
會ハセルト云フヤウナ方法デモ講ゼラレタ
ナラバ、今日警察署ノ取調ニ對スル非難ハ
除カレルノデハナイカト思ヒマスガ、此ノ
點ニ對スル行刑局長ノ御意見ヲ御聽キシタ
イノデアリマス

○金澤政府委員 事檢束ノ問題ニナリマス

ト、是ハ内務省ノ所管ニナツテ居リマシテ、
一寸司法省ノ方デハ如何カト考ヘマス、御
說ノ通り警察ノ留置場ガ監獄ノ代用監獄ト
云フコトニナツテ居リマスノデ、其ノ施設
其ノ他監獄ニ於キマシテ監獄ノ長ガ之ヲ注
意監督スベキ筋合ニナツテ居ルノデアリマ
ス、デアリマスルガ實際ノ問題ト致シマシ
テハ、中々サウハ參リマセヌノデ色々ト苦
心ヲ致シテ居リマス、廳デ色々ト法律モ改

正ノ途上ニアリヤウデアリマスカラ、法律

ニ認メナイヤウナ人權ノ拘束ト云フコトガ
段々ト少クナツテ來ルノデハナイカト考ヘ
テ居リマス

○本田(英)委員 行刑局長ノ御意見ヲ承リ

マシテ、幸ヒ今立法上ニ付テ是等ノ點ニ對
シテ御考ヘニナツテ居ルト云フコトデアリ
マスカラ、是非十分立法上御考ヘ願ヒマシ
テ、近時警察官ノ人民ニ對シテノ處置ニ對
シテ可ナリ非難ガ多イ、統制經濟違反カ其
ノ他ニ付テ可ナリ辛辣ノ取調ヲシテ居ルト
云フ非難ガアル際デアリマスカラ、十分立
法上御研究賜ルコトヲ希望致シマス

次ニハ既決ノ共產黨關係ノ犯罪者數ニ

未決ノ共產黨關係犯罪者ノ數ガ御示シ出來
マスナラバ承リタイト思ヒマス

○金澤政府委員 只今御質問ニナラレマシ

タ人員ハハツキリ申上ゲ兼ねマス

○本田(英)委員 今ノ共產黨關係ノ受刑者

ニ對シテ目下ノ狀況、所謂在監中ノ改心
ノ狀態ト云フヤウナコトガ若シ御答ヘ出來
マシタナラバ御答ヘヲ願ヒ、尙ホ共產黨關
係ノ既決囚ニ對シマシテハ、恐ラクハ獨房
ナンカニ入レテ居ラレルト思ヒマスガ、
ソレ等ノ人ノ轉向ニ付テドウ云フ處置ヲ執
ラレテ居ルノデゴザイマセウカ、尙ホ假出
獄ノ場合ノ標準ナンカハドウ云フコトデ假
出獄ヲ許サレテ居リマスカ

○金澤政府委員 此ノ在監中ノ所謂準轉向

或ハ非轉向者ニ對シマシテハ、當局ト致シマ
シテハ出來ルダケノ日本精神ヲ喚ビ返ヘシ、
日本人トシテノ立場ニ立ツヤウ努力シテ居
ルノデアリマシテ、ソレニハ相當ノ其ノ道
ノ專門家ノ人ニ會ツテ戴イテ、色々ト精神
的ニ訓話ヲシテ戴ク、或ハ又常時刑務所ニ

居リマシテ、其ノ思想犯ノ係ヲシテ居リマ

ス教誨師ガ日常ノ種々ノコトニ付キマシテ、
精神的ノ訓育ヲシテ居ル譯デアリマス、此
ノ解釋法ノ標準ニ付キマシテハ、一口ニ申
上ゲラレマセスガ、思想犯ニ付キマシテハ、
兎ニ角思想上ノ問題デアリマシテ、私共ガ
轉向シテ居ルト云フ風ニ認メマシテモ、偽
裝轉向ト申シマセウカ、轉向ヲシテ居ル如
ク見セ掛ケテ居ル者ガ相當ニアルノデアリ
マシテ、容易ニ又之ヲ信ジラレナイヤウナ
狀況ニモアリマス、旁、解釋法ノ狀況ニ付
キマシテハ、相當嚴重ニ指示ヲシテ居リマス

○本田(英)委員 尙ホ一ツ伺ヒマスガ、既決

囚ニ對シマシテハ、日本ノ現在ノ東亞共榮圈
確立ト申シマスカ、日本ノ南進政策ト申シ
マスカ、サウ云フ國運ノ非常ナ伸展ノ場合
ニ際會シテ居ルノデゴザイマスノデ、斯ウ
云フ既決囚ヲ成ベク南支ノ前線トカ、或ハ
北支ノ方ノ護リニ就カシメル、就カシメル
ト云フトカカシイノデスガ、斯ウ云フ囚人
ヲ植民地ニ送ルト云フコトハ、諸外國ニ於
テモ其ノ先例ノアルコトデアリマス、此ノ
既決囚ナドニ對シマシテハ、本當ニ一時ノ
過チノ爲ニ人ヲ殺メタ、日頃ハアア云フオ
トナシイ男ガドウシテ殺人ナンカヤツタノ
ダラウカト云フヤウナ人間モアリマスシ、獨
リ殺人罪ノミナラズ、用フレバ用ヒラレル
ヤウナ長期ノ刑ヲ受ケタ囚人モ居ルト思フ
ノデアリマス、サウ云フ囚人ヲソレ等ノ植
民地方面ニ送ツテ相當ノ仕事ヲサセルト云
フヤウナ取扱ハシテ居ラレナイノデセウカ、
ソレヲ一ツ承ハリタイ

○金澤政府委員 一寸速記ヲ止メテ戴キタ

イト思ヒマス

○林委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○本田(英)委員 最後ニ一ツ伺ヒマスガ、刑務所ノ職員ノ觀察ノシヤウデハ是位縁ノ下ノ力持ト思ハレル職務ハナイト思フノデアリマス、世間カラ隔離シタ既決、未決ノ人ニ對シテ、晝夜ヲ分タズ其ノ監視ノ任務ヲ盡サレテ居ルノデアリマス、吾々モ小學校教員諸君ニ對シテ其ノ待遇ヲ大イニ改善サレンコトヲ希望シテ居ルノハ、決シテ人後ニ落チナイノデアリマスガ、斯ウ云フ陰ノ仕事ヲシテ居ル刑務所ノ職員諸君ニ對スル待遇ガ、同ジヤウナ性質ノ巡查諸君ニ比較スルト何ダカ菲薄ノヤウニ思ハレルノデアリマス、配付セラレタ表ナドヲ見マシテモ、警察官ヨリモ監獄職員ノ待遇ガ甚ダ劣ツテ居ルヤウニ思ハレル、被服其ノ他ニ對シテハ多少優遇サレテ居ルヤウデスケレドモ、一般ノ俸給ナドハ非常ニ劣ツテ居ルヤウデアリマス、是等ニ對シ司法當局ニ優遇ノ御意見デモアリマシタラ承ツテ置キタイ

○金澤政府委員 洵ニ御同情アル御言葉ヲ戴キマシテ甚ダ恐縮ニ存ズル次第デアリマス、仰セノ通り非常ニ暗イ仕事ヲシテ居リマスノデ、私共モ何トカ平素改善ニ努メテ居ル次第デアリマス、一人當リノ年額カラ申シマス、五百四十圓デ、巡查ノ方ガ六百五圓ト云フコトニナツテ居リマシテ、大變ニ低イ生活ヲシテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り、常ニ受刑者ニ接觸シテ第一線ニ居ルノガ看守デゴザイマスカラ、看守ノ素質如何ト云フコトガヤハリ受刑者ノ改心、立派ナ人間ニ作り上ゲテ再ビ更生ノ途ヲ辿ラスト云フ上カラ言ヒマス、相當ノ人ガ要求サレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ狀態ハ中人々ガ來テ吳レナイバカリデ

ナク、寧ロ今日デハ逃出シテシマフト云フヤウナ狀態デ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、幸ヒ來年度ノ豫算ニ於キマシテハ如何ニモ可哀サウダト云フ風ナコトヲ御認メ願ヒマシテ、十六年度ノ豫算ニ於キマシテハ千人分ヲ單價六百圓ト云フコトニ引上ゲテ戴イテ、幾ラカ優遇ノ途ヲ講ゼラレル方途ガ付キマシタ、當局ト致シマシテハ、御趣旨ノ通り益、優遇ノ途ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○會和委員 司法當局ニ一ツ御伺ヒシタイ、御伺ヒト云フヨリモ、後半ハ私ノ意見ニナリマシテ済ミマセスガ、實ハ刑務所ノ受刑者ト申シマスガ、アノ人々ノ教誨ノ狀態ニ付テデアリマス、從來徳川時代ニ於キマシテハ、牢獄ト云ヘバ不淨ノ場所トサレテ居ツタ、是ハ間違ヒデアツテ、今日ニ於テハ、汚レテ居ル人ヲアノ清淨ナ所デ清メルノダ、即チ彼等ニ今マデ惡イ事ヲシタ報復ノ罰デナクシテ、私ノ考ヘ方カラ言ヒマ

スナラバ、惡イ事ヲスルヤウナ不完全ナ汚レタ魂ヲ持ツテ居ル人ヲ其ノ綺麗ナ所ニ收容シテ之ヲ更生セシメル、ダカラ日本國中ニ於テハ刑務所ガ一番綺麗ナ所ナンドト云フコトノ建前デヤラナケレバナライ、勿論惡イ人ガ入ツテ居ルノデアリマスケレドモ、容レテアル所ガ綺麗ナ所デナケレバ決シテ綺麗ニナライ、サウ云フ考ヘ方ナノデス、所ガ教誨師デアリマスガ、承ル所ニ依リマス、主トシテ眞宗ノ方ガヤツテ居ラレルサウデアリマス、私ハ率直ニ伺ヒタイノデスガ、果シテ今日マデノ教誨ノ仕事ガ相當效果ガアルト當局デ認メラレテ居ルカドウカト云フ問題デス、勿論相當長イ間未決ニ居ラレタリ、或ハ又既決囚トシテ刑ヲ終ヘ

ラレタ方ノ中ニハ刑務所ノ中ニ於テ教誨師カラ聽イタ話ガ縁トナツテ、熱烈ナ眞宗信者トナツテ居ル人モ稀ニハアリマスケレドモ、全體トシテ果シテ是ガ效果ガアルノデアルカ、今日ソレニ付キマシテ實際ドウ云フヤウナ様式デ此ノ教誨ヲヤツテ居ラレルノカ、ソレヲ先ニ伺ヒタイト思ヒマス

○金澤政府委員 御説ノ通り教誨ニ付キマシテハ概ネ眞宗ノ方面ノ僧侶ガ當ツテ居ルノデアリマス、其ノ今日マデノ成績如何ト云フ風ナコトニナリマス、ドウ云フ風ニ御答ヘ申上ゲテ宜シウゴザイマスガ、成績モ全クナイト云フ譯ニモ申上ゲラレマセスシ、相當ノ成績ヲ舉ゲテ居ルノデハナイカト考ヘマス、唯、今日ノ教誨師ノ御方ノ分野ト致シマシテハ、教誨堂デ大勢集メテ宗教上ノ説教ヲスルト云フ風ナコトヨリカ、寧ロ個人々々ガ個人ノ煩悶ヲ教誨師ニ懇ヘル、サウスルト其ノ教誨師ガ個人ノ煩悶ニドウ云フヤウニセヨト云フ相談役ニナリマシテ、家庭トノ連絡、或ハ保護會トノ連絡釋放後ドウ云フ風ニスルカト云フ身ノ振り方ヲ考ヘテヤルト云フヤウナ方面ニ主ニ力ヲ盡シテ居ルト思フノデアリマシテ、サウ云フヤウナ點カラ言フト、必ズシモ僧侶デナ

クトモ一般社會事業家デモ宜イデヤナイカト云フ議論モ出ルノデアリマスガ、サウ云フ風ナ篤志家ト云フモノハ多クノ數ヲ求メルト云フコトハ甚ダ困難デアリマシテ、ヤハリ多衆ヲ濟度スルト云フ風ナ、宗教心ヲ持ツテ居ル僧侶カラ、サウ云フ方ヲ選ボヨリ仕方ガナイト云フヤウナ現狀デアリマス

○會和委員 私ノ意見デアリマスガ、御參考ニナルカナラヌカ分リマセスガ申述ベマ

ス、私ハ斯ウ云フコトヲ普段カラ考ヘテ居ルノデアリマス、先般司法大臣ノ官舎デ懇談會ノアリマシタ時ニ申上ゲヤウト思ツタノデスガ、申上ゲラレナカツタノデス、刑務所内ノ神聖ナ所ニ神社ヲ設ケテ、神様ヲ御祀リスルト云フコトヲ一ツ御考ヘナサツテ戴キタイト思ヒマス、ドウ云フ神様ヲ祀ルカト云フト、私ノ考ヘトシマシテハ素盞鳴尊、即チ高天原デ天照大神ニ對シ奉リ非常ナ罪ヲ行ハセラレタ、併シナガラ被具ヲ科セテ高天原カラ御祓ニナツタ、是ニ於テアノ素盞鳴尊ガ驕然トシテ實ニ立派ナ御神徳ト云フモノヲ現ハサレタ、サウシテ出雲ノ國ニ御降りニナリマシテ、朝鮮ニ掛ケテ實ニ偉大ナル仕事ヲ御始メニナラレタ、尙ホ更ニ申シマスレバ、伊弉諾尊ノ橘小門之阿波岐原ノ禊祓ガアリマスカラ、此ノ神様ヲ共ニ御祀リスルト云フコトニシテ、アノ不幸ナル刑ヲ受ケラレタ方々、此ノ人々ヲ所謂日本人トシテ大昔カラ繼イデ居ル、其ノ血ガ今日マデ數百年間彼ノ人等ノ事情ニ依ツテ汚サレテ居ル、自覺的ニハナイカモ知ラスガ、其ノ魂ノ奥底ヲ淨メルト云フコトガ、今後ノ刑務所ノ重大ナ施設トシテ考ヘラレル點デハナカラウカト思ヒマス、先程行刑局長ノ御話ニナツタ赤化主義者ナドヲ日本精神ニ還ラセルト云フヤウナ點カラ言ウテモ、此ノ點ハ是非一ツ御當局ニ於テ御研究ノ上實施サレルナラバ非常ナ效果ガアルコトヲ私ハ信ジテ疑ヒマセス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○金澤政府委員 只今ノ御意見洵ニ有難ウゴザイマシタ、現在各刑務所ニ於キマシテハ神社ヲ御祀リ致シテ居リマス、祭神ハ天照大神ノ神靈ヲ奉體シテ居ルノデアリマス

ガ、又所ニ依リマシテハ各作業場ニ一ツツ奉體致シマシテ、作業ノ出入ノ都度禮拜ヲ致シマシテ、心ヲ淨メテ精神的ノ訓育ヲ致シテ居リマス

○林委員長 ソレデハ午前ハ此ノ程度ニ致シマシテ、午後一時半マデ休憩致シマス

午後零時十六分休憩

午後一時四十分開議

○林委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○本田(英)委員

先ヅ恩給局長ニ御尋ネヲ致シマス、恩給額ガ逐年増加スルコト云フコトハ、國家ノ興隆發展ヲ表徴スルモノデ、洵ニ欣ブベキコトト思フノデアリマス、而シテ東亞共榮圈ノ確立マデニハ事變ハ尙ホ可ナリ長期ノ間續クモノト見ナケレバナラヌト思ヒマスシ、統制經濟ハ益々強化セラレナケレバナラヌト思ヒマス、文武ノ官吏ハ増加ノ一途ヲ辿ルモノト思ハレルノデアリマス、明年度豫算ニ於テモ既ニ支那事變ニ伴フ恩給ノ増加トシテ掲ゲラレテ居ル豫算額ハ、三千七百四十五万七千圓ニ達シテ居ルヤウナ次第デ、吾々ハ此ノ恩給額ノ増加ト云フコトニ對シマシテハ勿論覺悟シテ居ル譯デアリマス、唯茲ニ伺ヒタイノハ、現行恩給法ハ大正十二年ノ施行ニナツテ、其ノ以前官吏恩給法、軍人恩給法、其ノ他ノ法律、勅令ヲ一本ニ纏メラレテ、茲ニ現行ノ恩給法ガ出來テ居ルヤウデアリマスガ、何モ私ハ之ヲ昔ニ還セト云フヤウナ議論ヲスルモノデハアリマセヌガ、文武ノ官吏ノ性質カラ申シマシテ、又其ノ恩給權發生ノ原因等ニ鑑ミマスレバ、一本ノ法律デ文武官吏ノ恩給ヲ纏メテ行クト云フコトハ可ナリ其ノ觀

念ニ於テドウカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ何等御差支ナイト云フ御考ヘデセウカ、一應其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○平木政府委員 恩給法ノ統一問題デアリマスガ、此ノ問題ハ大正十二年ノ現在ノ恩給法以前ノヤウニ各省別々ガ宜イカ、現在ノヤウニ統一シタ方ガ宜イカト云フ御質問デゴザイマスガ、此ノ問題ハ色々見方アリ得ルト思ヒマス、各省ソレソレノ事務ノ性質ガ違フノデアツテ、殊ニ軍關係、文官關係或ハ教育職員關係、各々仕事ノ性質ガ違フノデアルカラ、之ヲ一本ニスルノハ無理デハナイカト云フ御意見モ或ハ成立シ得ル

ダラウト思ヒマス、併シ一方カラ考ヘマスルト、何レニシテモ國ノ爲ニナル仕事デアル、或ハ國ノ爲ニヤツテ傷病ヲ受ケルト云フコトニナルト、其ノ傷病ノ現實ノ狀況ニ付テソレヲ判定シテ之ニ對シ恩給ヲ付スル、或ハ傷病年金、賜金ヲ付スルコトニナレバ、是ハ統一シタ方ガ宜イノデハナイカト云フ風ナ意見モアリ得ルカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ色々意見ノアルコトモ承知シテ居リマスシ、現在統一シテ居リマスコトニ付テ、是ガ果シテ宜イカドウカ、或ハ分離スルノガ宜イカドウカト云フコトモ絶エズ檢討ヲ加ヘテ居ルノデアリマスガ、現在ノ所ニ於キマシテハ、ヤハリ現在ノヤウニ統一シテ置ク方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレハドウ云フコトカラカト申シマス、只今申上ゲマシタヤウニ、同ジ國ノ官吏トシテ公務其ノ他ノ原因ニ依ツテ傷病ヲ受ケタト云フ風ナ問題ハ、是ハドウシテモ統一シタ立場カラ不公平ノナイヤウニ裁定ス

ルト云フコトガ必要デアル、併シナガラ一面カラ考ヘマスルト、軍ノ關係ト其ノ他ノ文官ノ關係トハ事情ガ異ナル點モアリマス、例ヘバ公務ノ爲ニ肺結核ニデモ罹ツタヤウナ場合ニ出征シテ戰地ニ於テ罹ツタ肺結核ハ公務ト認メルガ、内地デ罹ツタ場合ハ公務ト認メナイ、斯ウ云フ風ナ區別ヲ實ハシテ居リマス、是ハ一例ヲ申上ゲタノデアリマスガ、サウ云フ風ナ特殊ノ事情ニ應ジテ別ナ取扱ヒマスル、併シ其ノ他ノ點ニ於テハ統一スル、詰リ特殊性ヲ認メナガラ中心ニ於テハ之ヲ統一スルト云フ現在ノヤリ方ガ一番宜イノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○本田(英)委員 冒頭ニ申シマシタ通り、私ハ別ニ文官武官ニ依ツテ是非支給ヲ異ニセヨト云フ意見ヲ今茲ニ主張スルモノデハアリマセヌガ、軍人が戰爭若シクハ事變其ノ他ノ危險ナル公務ノ爲ニ死亡シ或ハ傷ツクト云フヤウナ場合ニ國家ガ給スルモノト、文官ガ永年ニ互ツテ寢食ヲ忘レテ國家ノ爲ニ奉公シタ場合ノ恩給トハ、必ズシモ之ヲ區別スベキモノデハナイカモ知レマセヌガ、軍人精神ノ上カラシマシテモ、名前カラシテ恩給ト云フノハ、其ノ戰死若シクハ戰傷ニ對シテ國家ガ酬ユルモノトシテハ、何ダカソグハナイヤウニモ思フ譯デ、將來軍人精神ヲ昂揚スル上ニ於テモ、恩給ト云フ風

ナ名稱ヲ離レテ、何トカ其ノ武勳ニ報ユル名稱ノ下ニ軍人關係ノ支給ヲヤツタ方ガ宜クハナイカト云フ私見ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、併シ只今茲ニサウ云フコトヲ強ヒテ主張スル者デハアリマセヌ、唯文官關係ニ於テ此ノ恩給支給ト云フコトニ對シマシテハ可ナリ將來ニ互ツテ考ヘナケレバナラ

ヌ點ガアルカトモ思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ、先ヅ私ノ考ヘト致シマシテハ、下級官吏ノ間ニ組織セラレテ居リマス、共濟組合ト云フヤウナモノニ對シマシテ、更ニ上級ノ官吏諸君ノ間ニモ斯ウ云フモノヲ拵ヘテ、恩給制度ト相俟ツテ進マルルト云フヤウナ御考ヘハナイカドウカ承リタイト思ヒマス

○平木政府委員 共濟組合ノ問題ニナリマス、社會保險ノ關係ニナリマスカラ、私ノ方カラ答辯致シ兼ねマス

○本田(英)委員 共濟組合ハ各省下級官吏ニ於テ組織セラレテ居ラレルモノデ、恩給局ノ方ニ御問ヒスルノハ或ハ無理カト思ヒマスガ、或ハ各省ノ雇員ノ爲ニハ雇員ノ扶助令ガアリ、傭人ニハ傭人ノ扶助令ガアリ、或ハソレト相俟ツテ又雇員ノ健康保險法トカ、傭人ノ健康保險トカ、可ナリ社會立法ノ法律ナリ勅令ガ施行セラレテ居ルノデアリマスルガ、是等ノ種々ノ法令ヲ統括シ、今度議會ニ提出セラレマシタ勞働者年金保險法ト云フヤウナモノモ按配サレテ、此ノ文官ノ恩給ヲ給スル標準ト云フヤウナモノニ對シマシテ……

○林委員長 一寸本田君ニ申上ゲマスガ、アナタノ御質問ニ對シテハ厚生省關係ノ政府委員ノオイデヲ願ツタ方ガ宜イノデヤゴザイマセヌカ

○本田(英)委員 サウデスネ、厚生省ノ政府委員カラ纏マツタ文官ノ待遇ト云フヤウナコトニ付テ意見ヲ承ルコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス

○林委員長 ソレデハ厚生省ノ方ノ政府委員ノオイデヲ願フコトニ致シマスカラ、其ノ方ニ關係ノアル所ハ後ニ願ツテ、別ノ方

ノ質問ヲ御願ヒ致シマス

○本田(英)委員 ソレデハソレハ後ニ廻シマシテ、軍關係ノコトニ付テ伺ヒマス、内地地病院ニ今日マデ收容セラレテ居ル傷痍軍人若シハ疾病軍人ノ數ガ御話ガ出來マズレバ承リタイト思ヒマス

○古田説明員 速記ヲ中止願ヒマス

○林委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○本田(英)委員 只今ノ數字ノ中ニアツタコトヲ、更ニ區分ケシテ御答ヘガ出來レバ、呼吸器疾患ガ非常ニ多イト云フコトデアリマスガ、呼吸器疾患ノ數ヲ承リタイト思ヒマス

(速記中止)

○本田(英)委員 呼吸器疾患ノ數ナドニ付テ世間デ、只今申サレタ數以上ト傳ヘテ居リマスガ、ソレヲ數字ヲ承ツテ實ハ安心ヲスル譯デアリマス、此ノ呼吸器疾患ノモノハ結局中々長イ年月治療ニ掛ルコトデアリマセウガ、再ビ戰線ニ立ツト云フヤウナモノナドモアルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ一ツ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○古田説明員 呼吸器疾患ノ程度ノ重イモノハ永久服役免除デアリマス、程度ニ依リマシテ、治療致シタト認メマシタモノハ、或ハ現役程度ノ除役ヲ受ケマシタモノハ、再ビ召集ヲ受ケテ戰線ニ立ツ場合モアル譯デゴザイマス

○本田(英)委員 尙ホ是ハ秘密ニナツテ居ルカドウカ知リマセウガ、戰線ヲ慰問ラシテ承ル所ニ依ルト、何カ名前ハ能ク分ラヌケレドモ、自然ト體ガ衰弱ラシテ行クヤウナ、是ハ私ノ聽達ヘカモ知レマセウガ、腸炎ト云フヤウナ名稱ノ下ニ取扱ハレテ居ル

病氣ガ可ナリアルト云フコトデアリマスガ、

サウ云フ患者ガ可ナリノ數アルノデアリマセウカ、ソレ等ニ對スル治療ノ方法ナドニ付テモ既ニ長イ年月デアリマセウカラ、十分御研究ガ出來タノデアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

(速記中止)

○本田(英)委員 其ノ他ニ付キマシテハ厚生省ノ方ガ來ラレテカラ質問スルコトニ致シマシテ、次ノ方ニ譲リマス

○林委員長 厚生省ノ政府委員ハ間モナク見エルサウデアリマスカラ、參リマシタナラバ引續キ御願ヒ致シマス——ソレデハ本田君才氣ノ毒デスガ、少シ後廻シニシテ戴イテ……

○本田(英)委員 承知致シマシタ

○林委員長 ソレデハ文部省ノ方ヲ先ニシテ——杉山君

○杉山委員 第一ニ御伺ヒシテ見タイ點ハ國民教育ノ根本精神トデモ申シマスカ、或ハ理念トデモ申シマスカ、其ノコトデアリマス、昨日同僚會和委員ノ質問ニ依リマシテ、大體大臣トノ應答ニ依ツテ明カニナツタノデアリマスガ、尙ホ一點伺ツテ置キタイノデアリマス、國民教育ノ根本精神ハ申スマデモナク明治大帝ノ御下シニナリマシタ教育ノ御勸語ニアルト云フコトハ、是ハ申スマデモナイト思フノデアリマス、所ガ其ノ趣旨ガ今日マデノ國民教育ノ間ニ能ク徹底シテ居ルカドウカ、例ヘテ申シマスナラバ、今日社會ノ非常ナ大キナ問題ニナツテ居リマス閣下取引ノ問題ニ致シマシテモ、若シ御勸語ニアリマス所ノ「博愛衆ニ及ホシ」斯ウ云フコトガ徹底致シテ居リマスナラバ、利己的ナ、或ハ自分ダケガ利益ヲ得レバ宜

イ、斯ウ云フコトト矛盾スルト思フノデアリマス、或ハ「公益ヲ廣メ」ト云フ御言葉ニ依リマシテモ、ドウモ今日ノ國民ノ實際生活ト云フモノヲ見マスル時ニ遺憾ナガラ其ノ底ニ大キナ矛盾ガアルコトヲ發見スルノデアリマス、先般モ或ル所デ斯ウ云フ言葉ヲ申シテ居ルコトヲ聞イタノデアリマス、第一線ニ參リマスナラバ 天皇陛下萬歲ヲ唱ヘテ、サウシテ君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲル國民ガ、銃後ニ歸ツテ參リマシタ時ニ閣下引ヲスル、此處ニ何カ教育上ノ缺陷ガアルノデハナイカ、然ラバモウ一應國民教育ノ根本精神ノ問題ニ付テ再檢討ラシテ、サウシテ此ノ御勸語ノ趣旨ガ徹底スルヤウニナスベキデハナイカ、斯ウ申サレタコトヲ聞イタノデアリマスガ、私モサウシタ感ジラ致スノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ今日マデノ教育ノ間ニサウシタ缺陷ガアツタトシタナラバ、那邊ニアツタノカ、又如何ニシテ今後之ヲ改善シ、サウシテ國民學校ト云フ名ニ相應シイ教育ヲシテ行クベキカ、斯ウシタ點ニ付テ先ヅ第一ニ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○菊池政府委員 只今杉山サンノ御述べニナリマシタ點ハ洵ニ重要ナ根本的ノ問題デ、此ノ點ニ付キマシテハ昨日モ文部大臣カラ信念ヲ御披露ニナツタコト承ツテ居リマス、御話ノ通り教育ニ關スル勸語ノ御精神ノ具現、徹底ヲ圖ルト云フコトガ教育ノ根本デゴザイマス、之ヲ先ヅ幼少ノ時カラ信念的ニ把握シテ實踐ニ移シテ行クト云フコトガ其ノ根本デアラネバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ趣意ヲ以チマシテ今回ノ國民學校ノ制度ノ改正ノ眼目ヲ其處ニ置イタノデゴザイマス、即チ教育勸語ニ

示サレマシタ所ノ皇國ノ道ニ則ツテ、サウシテ國民一般ニ必要ナル基礎的ノ鍊成ヲナシテ行クト云フコトヲ最大眼目ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ教科ノ編成、教授ノ運用ヲ徹底セシメタイト考ヘテ居リマス、勿論只今マデニ於キマシテモ絶エズ其ノ點ニ於テハ其ノ趣意ノ徹底スルヤウニ努メテ參リマシタノデアリマス、是ハ又社會各般ノ制度其ノ他モノノ考ヘ方等トモ相關聯シ、時々影響ヲ受ケルヤウナ次第デアリマシテ、更ニ廻ツテハ思想、學問、サウ云フ方面ノ行キ方ニ於テモ、根本的ニ一ツノ其ノ趣意ガ突貫ケテ徹底スルヤウニシテ行カケレバナラヌ、此ノ點ハ非常ニ影響スル所ガ廣ク深ク、又實際上其ノ方面ノ改善ヲ實現スルト云フコトハ中々一朝一夕ニハ出來ナイ困難ナ事情モアリマス、併シナガラ御承知ノヤウニ滿洲事變以來、日本國民ヲ通ジテ物ノ考ヘ方モ非常ニ變ツテ參リマシタ、一頃或ハ赤化思想ニ依ツテ茶毒セラレマシタヤウナ傾向ハ餘程變化ヲ見テ參リマシタ、是ニ於テ、此ノ轉換期ニ、一面ニ於テハ自我功利ノ思想ヲ排シ、サウシテ皇運扶翼ノ道ノ實踐ニ徹底邁進スル所ノ精神ヲ養ヒ、又之ヲ具現シテ行カケレバナラヌ、サウ云フ考ヘヲ以チマシテ、下ハ國民教育、上ハ大學教育、其ノ他一般ノ思想、學問ノ問題ニ付テモサウ云フ方向ニ向ケテ行キタイト云フコトヲ努力致シテ居ル次第デアリマス

○杉山委員 教育ノ根本精神、御勸語ノ精神ガ徹底シナカツタノハ、今日マデノ社會ノ經濟情勢、思想、色々サウ云フ關係ニアツタノダ、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ認メナイ譯デハナイノデアリマス、ダガ國民教

育ノ中心ニナツテ居リマス所ノ、又直接其ノ指導ノ任ニ當ツテ居ル所ノ所謂學校教師、斯ウ云フ人達ノ教育方法ニ於テ所謂缺點ガアツタノデハナイカ、色々サウ云フ社會情勢ナリ、思想情勢ガアツタト致シマシテモ、國民教育ニ當ル人達ガ確平タル理念ヲ持チ、之ヲ實踐ニ移シテ居ツタナラバ、ヨリ以上ノ效果ヲ得タノデハナカッタカ、ドウモ其ノ效果ガ薄カツタノデハナイカ、斯ウ云フ憾ミヲ懷イテ居ルノデアリマシガ、ドウモ今日マデノ教育ノ情勢ヲ見マシテモ、餘リニ抽象的デアリ、智的デアリ、今次官ガ實踐的ニト仰セニナリマシタケレドモ、其ノ點ハ非常ニ少イヤウニ考ヘルノデアリマス、寧ロ今日マデハドウモ智的中心デアツタヤウニ思ハレル、試驗主義デアリ、又點數主義デアツタヤウニ思ハレルノデアリマス、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ本當ニ實踐的ナ教育ヲスル、斯ウ云フコトデアリマスナラバ、特ニ今度ノ國民學校ニナリマシテモ、私ハ單ナル教科書ダケノ教育デナクシテ、吾々ノ周圍ニ觸レル所ノ萬般ノ事物ヲ捉ヘテ教育シテ行カナケレバ、ナナイト思フガ、サウ云フ點ニ付テ國民教育ト云フモノガドウ云フ態度ヲ持つテ居ルモノデアルカ、例ヘテ申シマスナラバ、今日國民學校ノ先生ノ中デ或ハ植物學ノ一部ヲ伺ヒマスナラバ相當ニ知ツテ居ル人ガアルカモ知レナイ、ダガ國民學校ノ先生ノ中デ自分ノ町村ノ、否自分ノ學校ノ周圍ニ生エテ居リマス所ノ雜草、何十種類ノ雜草ニ付テ諒解シテ居ル所ノ教師ハ一體何人居ルカ、若シ斯ク觀來リマスナラバ、非常ニハ貧弱ナモノデアアルマイカ、或ハ自分達ノ踏ンデ居ル國民ヲ養フ大地、此ノ上

壤ニ付テ、或ハ土壤ノ基本ヲ成ス所ノ岩石ニ付テドシナ知識ヲ持つテ居ルカ、斯ウ尋ネテ見マスナラバ、遺憾ナガラ非常ニ淺薄ト申シテハ氣毒デアアルカモ知レマセヌガ、餘リニ無智デアアルト云フコトヲ私共ハ經驗スルノデアリマス、若シ實踐的ナ教育ヲスルト云フナラバ、單ニ精神上ノ根本理念ハ勿論ノコトデアリマスガ、サウシタ科學ノ上ニ於キマシテモ、昨日大臣ノ御話ニナツタ「科學スル心」本當ニサウ云フ氣持ヲ持つテ國民教育ノ任ニ當ル者ガ幾人アルカ、私ハ斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ國民教育ノ所謂實踐的ナ教育ノ方法ニ付テ文部當局ノ御意見ヲ此ノ際伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○菊池政府委員 只今杉山サンノ御述ベニナリマシタ點ハ全ク同感デゴザイマス、教育ヲ運用シテ參リマス所ノ教員ガ、其ノ精神ニ於テ、實力ニ於テ、其ノ力ヲ發揮シナケレバ、有效ナル結果ヲ舉ゲルコトハ出來マセヌ、隨ヒマシテ今回モ國民學校制度ノ改善ニ於キマシテモ、其ノ改善ノ重點ヲ只今一寸御述ベニナリマシタヤウナ情の方面カラ、又抽象的知識ノ注入ニ對シテ具體的ニ其ノ教育ノ實效ヲ舉ゲルヤウニ、始終教科ノ編成ニ於テモ、運用ニ於テモ考ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ丁度今例ニ御引キニアリマシタ理科方面ニ於キマシテモ、御説ノ通りハ教材ノ配當ナリ取扱ニ於テモ餘程改善ヲ要スル點ガアルト思ヒマス、抽象的デナクシテ具體的ニ、ソシテ又生活ニ必須ナル其ノ教科ノ結果ガ各、兒童ノ身ニ附イタモノトシテ行クト云フ方向ニ向ケテ行カナケレバナラス、又例ヘバ算術ノ初メ數學等ノ取扱ニ致シマシテモ、實際生活ト能ク結付イデ、

サウシテ具體的ニソレヲ取扱ツテ而モ其ノ數理的處理ノ基本ヲ與ヘテ行ク、又公民的ノ教材ニ致シマシテモ、出來ルダケ抽象ニ流レズシテ、吾々ノ社會生活ノ實際ヲ把握シテ壯ニ入レルト云フヤウニ教科ノ配當、教材ノヤリ方ヲサウ云フ方向ニ向ケテ行クト云フコトニ專ラ重點ヲ考ヘテ居リマス、是ハ御承知ノ、只今御話ガゴザイマシタヤウニ、結局、先生ノ問題デアリマス、隨ヒマシテ引續イテ是ト並行シテ師範教育ノ改善ヲヤラナケレバナナイト考ヘテ居リマス、現在ニ於キマシテハ此ノ十五年度カラ取敢ズ其ノ方向ニ向ツテ教員ノ再教育ヲ實行シテ居リマス、是ハ五箇年間ニ互ツテ續イテヤツテ參リタイ、サウ云フ計畫ニ致シテ居リマス

○吉植委員 一寸關聯シテ居リマスカラ——丁度今國民教育ノ根本ニ關シテ具體的ノ例ヲ舉ゲテ杉山サンノ御尋ネニナリマシタガ、私モモウ一ツ具體的ノ例ニ付テ當局ノ御意向ヲ質シテ見タイト思ツテ居リマス、ソレハ博愛衆ニ及ボスト云フ教育勸語ノ精神ト政治ノ實際ガ相反シテ居ル場合ガアリマス、其ノ具體的ノ例ヲ申上ガマス、滋賀縣ニ於テ、滋賀縣民ニ對マシテハ米ヲ混砂搗ニ致シマス、是ハ保健衛生上又榮養學上甚ダ有害デアアルカラ之ヲ滋賀縣民ハ食ベルコトヲ禁止シテ居リマス、然ルニ隣ノ京都市ニ於キマシテハ混砂搗ヲ特ニ嗜好シテ居ル傾向ガアリマス、之ニ移出致シマス米ハ混砂搗デ宜シイ、滋賀縣民ニハ混砂搗ハ害ニナルカライカス、京都市民ニハ其ノ害ノアルモノヲ賣ツテ儲ケテモ宜シイ、斯ウ云フ縣令ニ相成ツテ居リマス、サウシマスト是ハ教育勸語ニアリマス博愛衆

ニ及ボスト云フ根本理念ニ反シタル行政機構ニナツテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ私共ノ考ヘヲ以テスレバ、左様ナ一區々々ノ地方ノ縣令ヲ以テ行ヒマスル政治ト云フモノヲ超越致シマシテ、或ハ寧ロ左様ナモノモ包含シテ教育ノ御勸語ノ精神ト云フモノヲ擴充スルト申シマセウカ、之ニ依ツテ淨メテ行カナケレバナラヌト存ジマス、サウシマスト文部省トシテハ內務省ノ方ニマデ、其ノ教育勸語ノ御精神ヲ徹底セシムル爲ニ斯様ナコトニ付テ行政上ノ交渉ガ出來ルモノデアリマセウカ、又致ス所ノ精神ガ、固ヨリオアリノ筈デアリマスガ、左様ナ時ニハドウシタラ實際ニ於テ此ノ御精神ヲ貫徹スルコトガ出來ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

○菊池政府委員 只今具體的ニ例ヲ御舉ゲニナリマシテ吉植サンカラ御尋ネガゴザイマシタガ、滋賀縣、京都府等ノ混砂米ノ取扱ヒニ付テハ私ハマダ事情ハ能ク承知ハシテ居リマセヌ、御話ノ御趣意ハ要スルニ斯ウ云フ方法ガ宜イ、是ガ國民生活ヲ全ウシテ行ク上ニ於テ斯ウ云フ方法ガ宜イト云フ熱心ナル御見地カラノ御考ヘデアラウト思ヒマス、私モ是ハ素人デ能ク分リマセヌ、何レ其ノ實際家ノ御研究モアルコトと思ヒマス、若シソレガ研究ノ上ニ於テモ實際ノ上ニ於テモ是ガ宜シイ、國民生活ヲ全ウスルト云フ今日ノ現狀カラ云ツテ是ガ宜イト云フヤウナコトガ決定的デアリマスルナラバ、ソレニ對シテ必要ナコトハ或ハ所管ノ省デ考ヘラレテ然ルベキダト思ヒマス、又必要ナ連絡ト申シマスカ、進言ト申シマスカ、サウ云フ御相談ヲ申上ガテ結構デアルト思ヒマス、御趣旨ニ付テハサウ云フ檢討

スルト云フコトハ結構ダラウト思ヒマス、唯私素人デ其ノ點ハ能クハツキリ分リマセヌカラ能ク研究致シタイト思ヒマス

○吉植委員 次官ハ私ノ質問ノ要旨ヲ御取リ違ヘテ居ラレヤウニ思ヒマス、私ガ御尋ネシマスノハ、其ノ事ノ是非善惡デハアリマセヌ、現ニ滋賀縣民ニハ混砂精白シタ米ハ身體ニ害ガアルカラ食ベサセナイ、縣令ヲ以テ禁止シテ居ル、隣ノ京都府ニ之ヲ持出シテ賣ルコトハ禁止シナイ、是ガ今現ニ實際行ハレテ居リマス、サウシマスト自分ノ子ハ可愛イカラ惡イモノハ食ベサセナイ、隣ノ子供ニハ之ヲ商賣ノ道具ニシテ毒ト思フモノヲ賣ツテ金ヲ儲ケテモ宜シイ、斯ウ云フコトガ滋賀縣ニ行ハレテ居リマスガ、是ハ博愛衆ニ及ボスト云フ御勸語ノ精神ト扞格致シテ居ルト思ヒマスガ、ソレニ對スル文部省ノ肚ヲ聽キタイノデアリマス、併シ今ハ杉山サンノ時間デゴザイマスカラ、私ノ順番ガ來マシタラ此ノコトニ付テ能ク文部省トシテノ御肚ヲ御聽キ致シタイト思フデアリマス、ドウカ其ノ實際ドウナツテ居ルカノコトモ御研究ヲ御願ヒ致シテ置キタイト思ヒマス

○杉山委員 今次官カラ今日マデノ國民教育ノ中心ニナル先生達ノ教育ノ中ニ於テモ、私が申上ゲタ如ク多少知的ニ偏シ、實際的ニ薄カツタ、カルガ故ニ今後サウ云フ實踐的方面ニ段々進ンデ行ク、斯ウ云フコトヲ伺ヒマシテ、私ハ非常ニ有難ク思フデアリマス、是非學問ガ直グニ活キテ働ケルヤウニ教育シテ戴カナケレバ教育ノ本旨ハナイト思フ、私ハ教育ノ本旨ハ色々アルガ、其ノ一つノ大キナ點トシテ、學ンダコトヲ直グニ實際ニ應用スル、喜ンデ吾々ガ勤勞ニ從事スル、或ル人ガ申シマシタヤウニ、

恰モ祝祭ニ行クヤウナ心持デ勞働スル、斯ウ云フコトニ教育ヲシナカツタナラバ、唯頭ダケ出來テ、サウシテ働クコトノ嫌ヒナ國民ガ出來ルノデハナイカ、今日マデハ私ハ其ノ點ニ非常ニ教育ノ弊害ガアツタヤウニ考ヘルノデアリマスガ、今申シマシタヤウニ實踐的ナ教育ヲ致スナラバ喜ンデソレヲ實際ニ應用シ、サウシテ之ヲ勞働ノ上ニ又自分ノ生活ノ上ニ創造ノ歡喜ヲ本當ニ味ハツテ行クコトガ出來ルト思フデアリマス、實踐的ナ教育ト云フ點ニ付テ、今私ノ申上ゲマシタヤウナ氣持ヲモ國民學校ニ御採リニナルノデアアルカ、尙ホ此ノ根本的精神ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○菊池政府委員 只今杉山サンノ御話ノ勤勞ノ精神ヲ徹底スルコトハ、洵ニ結構ナコトデゴザイマシテ、是ハ先程私ノ申上ゲマシタ教育ノ方針ガ、單ニ抽象的知識ノ注入ニ偏スルヤウナコトナクシテ知ト行ト相俟ツテ、サウシテ行ノ實踐ニ依ツテ身ニ付ケテ把握シテ行ク、知行ノ合一ト申シマスルカ、ソコマデ行カナケレバ教育ガ物ニナラナイ、其ノ意味カラ申シマシテ、只今杉山サンガ仰セラレマシタ勤勞ノ尊重ト云フ、唯ノ抽象ヨリモ寧ロ勤勞ヲ實踐スルコトニ依ツテ教育ヲ活カシテ行クコト云フ所ニマデ參リタイト考ヘテ居リマス、是ハ今回ノ國民學校ニ於キマシテモ、理數科等ノ學科ニ於テ、ソレカラ又藝能科ト云フ學科トカ、實業科ト云フ學科ニ於キマシテモ、是ハ一貫シテ彼此ヲ連繫ヲ取ツテ其ノ點ヲ活カシテ行クヤウニト云フコトヲ通シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 是非其ノ點ヲ徹底シテ戴キタイト思ヒマス

ソコデサウシタ良イ教育ヲ致シマス爲ニ、師範教育ガ之ニ適應スルヤウニ改善サレテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、今日ノ師範教育ノ狀態ヲ見マス、色々遺憾ナ點ガアルノデハナイカ、先ヅ第一ニ最近ノ師範ノ學生ノ入學狀態ヲ見マス、應募者ノ半數ニモ充タナイ、甚ダしい所ハ十分ノ一ニモ充タナイト云フヤウナコトヲ新聞デ見受ケテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトガ事實デアルカドウカ、若シ事實デアルト致シマスナラバ、其ノ原因ハ那邊ニアルカ、是ハアトデモ色々ヒタイト思ヒマスガ、學校教師ノ待遇ノ問題等ト關聯シ、今日ノ軍需產業ナドニ從事スル勞働者ノ方ガ收入ガ多イ、斯ウ云フヤウナ點ナドモアルノデナイカト思フデアリマスガ、文部省ノ方ノ御調査ノ模様ハ如何デアルカソレカラ序ニ尙ホ伺ツテ置キマスルガ、一部二部ノ師範學校デ併置シテ居リマス、是ハ一部中心デ行クベキカ、或ハ一部二部並進デ行クノカ、或ハ斯ウ云フコトニ對スル師範教育ノ根本方針ハ那邊ニアルノカ等ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○菊池政府委員 師範學校ノ入學志願者ガ最近ニ於テ非常ニ減少シテ居ルト云フコトハ事實デゴザイマス、唯本年度ニ於キマシテハ、實ハマダ募集ノ途中デゴザイマシテ、今少シ先ハ參リマシテ締切近クニナリマセスト本當ノ所ハ確定的ニハ申上ゲラレマセヌガ、大體昨年以來ノ情勢カラ見マスルト、志願者ハ非常ニ減リツツアリマス、又假ニ志願シテ參リマスル者ノ中ニ於キマシテモ、質ノ點ニ於テ下ツテ居ル者ノアルコトハ、認メナケレバナラヌ悲シムベキ事實ト考ヘマス、是ハ色々ノ事情モアルト思ヒマス、

御承知ノヤウニ現在各方面ニ於キマシテ人ノ需要ガ激烈デアリマスノデ、サウ云フ關係モアルカト思ヒマス、又只今御示シノアリマシタ待遇等ノ點モ確カニ重大ナ一ツノ素因デアルトモ考ヘマス、隨ヒマシテ來年度豫算ニ於キマシテ、師範學校ノ生徒ニ對スル學資ノ補給等ハ、從來ハ國庫カラハ一人一年當リ六十圓ヲ補給シテ居リマシタノヲ、來年ハ百圓ヲ補給スルト云フヤウニ増額ノコトモ豫算ニ計上シテ御協賛ヲ求メタヤウナ譯デアリマス、其ノ他色々考フベキコトモアルト思ヒマスガ、應急處置トシテハソレ等ノ方法モ講ジテ居ル譯ナノデアリマス

ソレカラ第二ノ御尋ネノ一部ト二部ノ問題デゴザイマスガ、是ハ中々難カシイ問題デゴザイマシテ、何レガ勝ツテ居ルカト云フヤウナ優劣ノ點ハハツキリト斷定スルコトガ困難デハナイカト思フデアリマス、寧ロ一部ニハ一部ノ特長ガアリマス、二部ニハ二部ノ特長ガアリマス、之ヲ兩々並進サセマシテ、サウシテ此ノ特長ヲ活カシテ行クト云フヤウナ方針デ從來ヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、各、特長ガアルト考ヘマス

○杉山委員 各、特長ガアルカラ從來通り二部並進シテ行ク、斯ウ云フ御意見ト拜承致シマス、ソコデ教員ノ待遇改善ノ問題ニ付テ更ニ進ンデ御伺ヒシタイノデアリマスガ、先程モ庄司君カラ御話ガゴザイマシタケレドモ、私共國民教育振興議員聯盟デハ、先般來大臣ニモ御目ニ掛リマシテ、色々ト教員ノ待遇改善ニ付テ御願ヒシタ所ガ、非常ニ吾々ノ思ヒニ優ル意氣ヲ以テ、待遇改善ニ當ル、斯ウ云フ言明ヲ得テ、吾々議員

聯盟ノ者ハ非常ニ感激ヲ致シテ居ルノデア
リマス、伺ヒマスレバ本日閣議ニ於テモ其
ノ問題ガ上セラレテ居ルト云フコトヲ仄聞
致シテ居ルノデアリマスガ、サウシタ努力
ニ對シマシテ、私ハ其ノ聯盟ノ一員トシテ、
文部當局ニ深ク感謝スルノデアリマスガ、
サウ云フ狀態デアリマスルカラ、吾々ノ願
ヒヲ無ニスルト云フヤウナコトハ萬々ナイ
ト思ヒマスケレドモ、今日マデノ文部當局
ノ色々ノ狀態ヲ見マスルト、何時モ議場デ
御約束ニナツタコトガ有耶無耶ニ終ツテ居
ルコトガ多イノデアリマス、サウ云フ意味
合ニ於キマシテ、私ハ後日ノ爲メト云ウテ
何モ證文ヲ取ル譯デハナイノデアリマスガ、
議員聯盟ノ者ガ決議ヲシテ御願ヒ致シテ居
リマシタ條項ヲ、此ノ際ハツキリ申上ゲテ
記録ニ留メテ置キタイト思ヒマス、吾々ノ
御願ヒシマシタ要項ノ應急對策ハ

一、師範學校生徒ニ對スル給與全額國庫
負擔ノ實施

二、全國初等教員ニ對シ臨時手當月額金
十圓ヲ增加スベシ

三、初等教員年功加俸ヲ中等學校教員ト
同様ニ改善スル爲メ小學校教員俸給令
ノ改正ヲ行フベシ

恆久對策トシマシテ

一、初等教員ニ對シ中間再教育機關ノ設
置

二、初等教員ノ定年制ヲ全廢スルコト

三、初等教員ニ對スル精神的優遇方法ヲ
確立スルコト

以上デゴザイマスガ、應急對策ノ第二ノ臨
時手當ノ問題ハ、今朝庄司委員ノ質問ニ對
スル次官カラノ答辯ニ依ツテ大體最高額十
圓給與スル、斯ウ居フ御話ガゴザイマシタ

ノデ、此ノ問題ハハツキリ致シタと思フノ
デアリマス、第一ノ師範學校生徒ニ對スル
給與ノ全額國庫負擔ノ實施ノ問題ニ付キマ
シテハ、今御話ニ依ルト多少増額スルト云
フ位ノコトデアツテ、多少ト云フコトニア
ルラシイガ、仄聞スル所ニ依ルト、教員ノ
問題ニ付テハ大藏省モ非常ニ關心ヲ持ツテ
居リ、サウシテハハヤハリドウシテモ實現
スル必要ガアル、斯ウ云フ御心持デアルヤ
ウニ伺ツテ居ルノデアリマスガ、是非多少
ノ増額デナクシテ、茲ニ書イテアリマスル
ヤウニ、全額國庫負擔ト云フヤウニ御努力
ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、單ナル多
少ト云フ位デアリマセウカ、モウ一度其ノ
點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○菊池政府委員 只今御尋ネノ師範學校生
徒ノ學資給與等ニ關スル件デアリマスガ、
私ガ先程申上ゲマシタノハ、昨午師範學校
ノ給費ガ一部ノ者ニ國庫カラ一人當リ六十
圓ト云フコトニ認メラレタノデゴザイマス、
ソコデ是デハ足ラナイ、來年度豫算要求ト
致シマシテハ第一部ノミナラズ、第二部ノ
生徒ニ同様ニ考ヘナケレバナラヌト云フ點
ガ一ツト、ソレカラ金額ニ於テモ六十圓デ
ナクシテ、少クトモ百圓程度ヲ支出スル必
要ガアル、サウ云フ見地ノ下ニ色々ト其ノ
方法ヲ研究致シマシテ、只今申シタ限度ノ
要求ヲ致シマシタ、是ガ來年度通常豫算ノ
方ニ計上セラレテ居ルト云フコトヲ申上ゲ
タノデゴザイマス、只今御話ノ點ハ、更ニ
進ンデ、全額國庫デ負擔スベキデアラウト云
フ洵ニ熱心ナル御主張デゴザイマシテ、此
ノ點ハ成程考フベキ點デアルト云フ見地ヲ
以チマシテ、更ニ之ヲ全額ニ近イ程度國庫
ガ負擔スベキデアルト云フ考ヘヲ以テ只今

政府ニ於テモ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソ
レハ實現シ得ル可能性ハアル、左様ニ私ハ
考ヘテ居リマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願
ヒマス

○杉山委員 大變有難イ言明ヲ得マシテ感
謝スル次第デアリマス、單ニ私一個バカリ
デナシニ、今後將來國民教育ノ任ニ當ラウ
トスル者ガ、政府ノサウシタ厚イ態度ニ對
シテ感激シテ國民教育ニ當ルデアラウ、斯
ウ云フヤウニ思フノデアリマスカラ、是
非此ノ點ハ實現ノ出來マシヤウニ最善ノ
御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソコデ年功加俸ノ問題デアリマスガ、中等
學校ハ五年スレバ年功加俸ガ與ヘラレルガ、
小學校教員ノ方ハ五年經チマシテモ、是ハ成
績優良デアルト云フコトヲ認メラレナケレ
バ與ヘラレナイシ、又年功加俸ヲ戴イテ居
ツテモ、途中ドウモ成績ガ宜シクナイ、斯ウ
云フコトヲ當局カラ睨マレマスレバ停止サ
レル、斯ウ云フ規定ニ相成ツテ居リマスル
ガ、是ハドウモ中等教員ノ方ハ五年デ必ズ
加俸ヲ戴キ、小學校教員ノ方デハ左様ニナ
ツテ居ラナイ、茲ニ同ジ教育ニ身ヲ置キナ
ガラ、差別的ナ待遇ノアルコトハ甚ダ面白
クナイ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、此ノ
差別ヲ廢止シテ、中等教員ト同様ニナサル
ト云フコトハ當然ダト思フノデアリマスガ、
尙ホ此ノ點ニ付テ御意見ヲ承ツテ置キタイ
ト思フノデアリマス

○菊池政府委員 御尤モノ御話デゴザイマ
ス、ソレニ付テ實ハ只今マデ假令サウ云フ
規定ガゴザイマシテモ、サウ云フ一方ニ於
テハ條件モ付イテ居リマスルノト、一方ニ
於テハ財政的ナ關係係中々困難ナ事情モア
ツタヤウニ考ヘラレルノデゴザイマス、御

承知ノヤウニ國庫カラ年功加俸ノ支給ニ對
シテハ補助ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、
其ノ補助ニ相當スル大體ノ金額ヲ府縣ガ又
支出致シマシテ、ソレヲ合ハセテ年功加俸
支給ノ財源トスル譯デアリマス、隨ヒマシ
テ先ヅ此ノ年功加俸ノ受給ノ年限ニ達シテ
居ル者ニ對シテ、廣ク受給ノ途ヲ開クト云フ
點ダケカラ考ヘマシテモ、其ノ支給金額ヲ
増サナケレバナリマセヌ、ソレニハ府縣ダ
ケデナクシテ國庫ノ方カラモヤハリ補助ヲ
シテヤラナケレバナリマセヌ、ソコデ國庫
ノ補助ノ金額ヲ増額スル必要ガアルト認メ
マシテ、來年度通常豫算ニ計上致シマシタ
ノモ、此ノ際國庫ノ補助ヲ増額スル必要ガ
アルト認メマシテ、御承知ノヤウニ三百七
十四萬圓ヲ増額致シタノデアリマス、從來
ハ二百五十萬圓バカリデゴザイマシタ、ソ
コデ此ノ二百五十萬圓ニ三百七十四萬圓ヲ
今度更ニ増額シタ譯デアリマスカラ、兩方
合ハセマシテ約六百三十萬圓バカリニナル
ノデアリマス、其ノ六百三十萬圓ニ相當ス
ル金額ガ今度府縣ノ方カラ又出サレル譯デ
アリマシテ、兩方合ハセマスト一千二百萬
圓以上ニナルト思ヒマス、サウ致シマス、
茲デ今マデ足踏ミヲシテ待タサレテ居リマ
シタ所ノ教員ハ、齊シク早ク均霑スルコ
トニナル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレマス、
尙ホソレヲ徹底シテ行ク上ニ於テハ、中等
學校教員ト同ジヤウニ、年限ガ來タナラバ
支給シ得ルト云フ風ニ原則的ナ詰リ條件ヲ
取ツテ行クト云フコトニナレバ、一層徹底
スル譯デアリマス、ソレニハ其ノ前提トシ
テ先ヅ財源ヲ與ヘテ置カナケレバナラス、
只今ハ取敢ズ財源ヲ與ヘテ、サウシテ尙ホ
是ハ關係省モアリマスガ、サウ云フ方面ト

第三回 昭和十六年二月十日

モ協議ヲ致シマシテ、出來ルナラバ此ノ條件モナクシテ、中等教員ト同ジヤウニナルヤウニ、是非一ツ研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 今次官ノ言明通り、是非一ツ實現ニ努力シテ戴キタイト存ジマス

ソレカラ尙ホ御伺ヒ致シタイ點ハ、都市ト農村トノ教師ノ差別デアリマス、都市ノ教員ハドウ致シマシテモ俸給ガ高ク農村ノ方ガ低イ、斯ウ云フ關係デ金ダケ物ヲ言フノデハゴザイマセヌガ、都市ニハ優秀ナ教員ガ集マツテ、サウシテ農村ニハマアソレ以下ト申シテ宜シイカ、サウ云フ人ガ集マルヤウニ見受ケルノデアリマス、又都市ナドニ於テハ俸給以外ニ住宅料ト云フヤウナモノモ支給シテ居ルヤウデアリマスガ、農村ニハ一向サウ云フモノノアルコトモ餘リ聞カナイノデアリマス、サウ云フ差別ガ付キマス、ヤハリ都市中心ノ今日ノ教育、自然何ト申シマスカ、今日マデノ自由主義的ナコトニ相成ツテ行クノデハナイカ、都市農村平均シテ、ヤハリ優秀ナ教師モ廻ツテ行クヤウニシナケレバナラヌト思フノデスガ、サウ云フ都市偏重ノ弊ニ對シテ如何ニシテ之ヲ矯メテ行クカ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノ點ハ御尤モデゴザイマシテ、都市ト農村トノ比較シテ、都市ノ方ニ優良ナ教員ガ集マリ、農村ニ比較的優良ナ教員ガ配置サレルト云フコトハ、是ハ決シテ義務教育ノ完成徹底ヲ期スルト云フ建前カラ申シマス、喜ブベキコトデハナイト思ヒマス、今御話ノヤウニ、都市ニハ或ハ住宅料等ガ支給セラレ、其ノ他色色ナ條件ガ好イト云フヤウナコトモアリマ

スケレドモ、又一面カラ考ヘマス、農村ハ農村デ教員ノ出身ノ關係カラ致シマシテ、自宅カラ學校ヘ通ヒ得ルト云フ便宜モ一方ニハアリ得ルトモ思ヒマス、唯單ニサウ云フ經濟的ノ事情ダケカラ一方ニ優良ナ者ガ集マリ、一方ニサウデナイ者ガ偏在スルト云フコトハ、是ハ面白クナイト思ヒマス、是ハ御承知ノヤウニ昨年カラサウ云フ人事ノ交流適正ヲ期スルト云フ立場カラモ、教員ノ俸給ヲ府縣費デ支辨スル、町村デ持ツテ居リマスト色々財政ノ關係等デ窮屈ノ點モアリマス、府縣全體ヲ見渡シテサウ云フ人事ノ交流適正ヲ期スルト云フ一ツノ理由モ考ヘテ、府縣費ノ支辨ニナツタ譯デアリマス、御指示ノ點ハ尙ホ能ク實際ノ行政上ニ於テ、其ノ圓滑ヲ期シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 是非一ツ人事ノ交流ヲ適當ニシテ、都市ト農村ノ差別ノナイヤウニ國民教育ノ立場カラ御考ヘヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ此ノ際ニ一寸伺ツテ置キタイノハ、一時農村ノ非常ニ疲弊ヲ致シマシタ際ニ、教員ノ俸給不拂ヒノ町村ガ多數アツタノデアリマス、最近ハ農村ノ狀態モ稍、緩和セラレテ參リマシタガ、教員給不拂ヒノ町村ガ今日デモ尙ホアルデアリマセウカ、アルナラバ其ノ町村數竝ニ金額ナドガ分レバ御示シヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ、以前ニハ教員俸給不拂ヒト云フヤウナ残念ナ現象ガアツタノデアリマスガ、是等ノヤウナコトヲナカラシムル意味モ以チマシテ、實ハ昨年カラ府縣費デ俸給ヲ支拂フ府縣費支辨ニナツタノデアリマス、デアリマスカラ現在ニ於テハ全然其ノ點ハ根絶シマシテ、又將

來ハ無イト思ヒマス、唯從來町村ニ依ツテ不拂ヒニナツテ居リマシテ、年賦デ拂ツテ居ルヤウナ未整理ノ分ハ多少アルダラウト思ヒマスガ、是モオツツケナクナルデアラウト左様ニ考ヘマス

○杉山委員 精神のナ待遇コトデ、先程同僚庄司君ガ伺ツテ大體分ツタノデアリマスガ、奏任待遇ノ擴大等ガアリマシテ、位階勳等ナドモ多少上ダルカノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、其ノ點ハ如何ナツテ居ルノデアリマスカ

○菊池政府委員 小學校長ノ奏任待遇ハ先程御答ヘ申上ダマシタヤウニ範圍モ擴大致ス豫定デアリマス、ソレカラ待遇ノ程度モ從來ハ五等ガ止リデアリマシタガ、ソレヲ今度ハ四等マデ待遇ヲ上ダ得ルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ官等ノ上ルニ伴ヒマシテ、位階勳等ノ方モ上リ得ルト云フコトニナリマス

○杉山委員 ソレカラ國民學校藝能科ノ音樂ノ教育方針ノ問題ニ付デアリマス、今日マデ音樂ハトモスルト輕視サレテ居ツタヤウナ形ガアツテ、唯一部ノ人ノ趣味娛樂ノ爲ニナスカノ如クニ、考ヘラレテ居ツタノデアリマスガ、今日色々調査研究サレマシタ點ニ依レバ、特ニ勞働科學研究所ナドノ研究ニ依リマス、優秀ナ職工ハ何處ガ他ノ職工ト異ツテ居ルカ、色々調べ見タ所ニ依リマス、大體ニ於テ變ツタ所ガナイガ、唯一ツ變ツタ所ハ、音樂ニ秀デテ居ルト云フコトデアツタ、斯ウ云フ調査ヲ聞イテ居ルノデアリマス、シテ見マスと國防ノ上ニ於キマシテモ、又軍事産業ノ上ニ於キマシテモ、音樂ト云フモノガ如何ニ大切デアアルカト云フコトガ、今度新シク再認識

サレテ參ツタノデアリマス、所ガ其ノ音樂教育ヲ、今度ノ國民學校藝能科ノ中ニ御採用ニナツテ、サウシテ其ノ教育方針ヲ從來ト違ツテ、聽音訓練ヲ採ルト云フヤウニ相成リマシタコトハ、是ハ文部省ノ大變結構ナ考ヘ方デアリ、又一ツノ進歩デアルト考ヘルノデアリマス、所ガ今日マデノ音樂教育ハ、御承知ノヤウニ移動音、即チドウ云フ調子デモ「ド」、「レ」、「ミ」、「ファ」デ片付ケテ參ツタノデアリマス、之ニ依リマス一ツノ音階ニ七ツ——寧ロ嚴密ニ言フナラバ三十五ノ名稱ガ付ク譯デアリマスガ、此ノ移動音ニ依ル所ノ音樂訓練デ、例ヘテ申シマス、子供ニ馬ヲ見セテ馬ト教ヘテ、何遍デモ繰返シテ馬ト教ヘルナラバ、直チニ此ノ見セタ動物ハ馬デアアルト云フコトヲ覺エルノデアリマスガ、子供ニ三十五回馬ヲ見セテ、三十五種ノ變ツタ名稱ヲ與ヘマスナラバ、子供ノ頭ハ混亂シテ、動物ニ何ト云フ名稱ヲ與ヘテ宜イカ、能ク分ラナクナツテシマフノデアリマス、丁度之ト同様デ從來ノ移動音名ノ教育デ、斯ウシタ混亂シタ教育ヲ授ケテ參リマシタカラ、折角多年音樂教育ヲ致シナガラ、其ノ音樂ト云フモノガ今申シマスヤウニ、吾々ノ實際生活ノ上ニ餘リ役ニ立タナイデ來タト云フ點ガアルノデアリマス、之ニ反シテ集合音、或ハ和音デ教ヘマスナラバ、一ツノ音ガ決マツテ居ルノデアリマスカラ、馬ナラ馬、飛行機ナラ飛行機、斯ウ云フ一ツノ固マツタ音トシテ覺エマスカラ、子供ハ直グニソレヲ覺エ、又其ノ音ヲ覺エテ居ルカラ、ソレニ依ツテ自分デ音ヲ綴ツテ一ツノ作曲ガ出來ル、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、斯ウシタ和音ノ音樂教育、或ハ之ヲ音感教

育ト唱ヘテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウシ
タコトヲ事實關西ニ於テ、小學校採用シ
實行シテ居リマス、殊ニ自分ノ住マツテ居
リマス近クノ堺市ノ小學校ニ於キマシテハ、
ソレヲ採用致シマシテ、驚クベキ成績ヲ舉
ゲテ居ルノデアリマス、一ツノ例ヲ申シマ
スト、小學校ノ子供ガオ母サント一緒ニ歩
イテ居ル時ニ、向フカラ戰車ガ三十臺來ル、
斯ウ云フコトヲ申シタ、オ母サンハマダ戰
車ノ音モ聞イテ居ラナイ時デアリマス、暫
ラクスルト果シテ戰車ノ音が聞エテ來テ、
近ヅイテ見ルト其ノ數モ的確ニ三十臺デア
ツタ、斯ウ云フヤウニ微妙ニサウシタ教育
ニ依ツテ慣ラサレタ耳ガ、發達ヲ致シテ居
ルノデアリマス、國民學校デハ斯ウシタ和
音ヲ二十數箇、卒業スルマデニ教ヘルト云
フコトニナツテ居ルサウデアリマスガ、既
ニ堺市ノ小學校デハ勿論、幼稚園デモ三十
數箇ヲ教ヘルテ居ルノデアリマス、ソコデ文
部省ニ御伺ヒシタイコトハ、此ノ音感教育
ヲ採用スルコトニナツタト云フコトハ、先
程申シマサウニ非常ニ結構ナコトデスガ、
特ニ關東ノ音樂學校系統ノ方々ハ、從來此
ノ點ニ對シテ反對的態度ヲ執ツテ來テ居ツ
タ、所ガ今度國民學校ノ藝能科ノ音樂ノ編
纂委員ノ中ニハ、サウシタ造詣ノ深イ人達
ガ入ツテ居ラナイ、ソレニ反對シテ居ツタ
人達ガ主ニ占メテ居ルト云フ話ガアルガ、
サウ云フヤウナ新音樂教育ノ方針ヲ採用ス
ルナラバ、斯ウシタ專門家デアアルヲ、ド
ウシテ之ニ入レナカツタノデアアルカト云フ
コトガ一ツ、ソレカラ若シ色々ナ關係デ、
ソレ等ノ權威者ヲ加ヘルコトガ出來ナイト
云フナラバ、色々又文部省ノ編纂委員デ、

立案サレマシタ所ノ音樂方針ト云フモノヲ、
今後社會ニ廣ク發表シテ、サウシテ廣ク民
間ノ意見ヲ聽イテ、然ル後ニ良イモノハ良
イトシ、非ナルモノハ非ナリトシテ訂正シ
テ、最後ノ音樂教育方針ト云フモノヲ、決
定スルト云フ御用意ガアルノカドウカ、尙
ホ第三ノモウ一ツノ點ハ文部省ハ此ノ和音
教育ヲ採リマスノニ、音名ハイ、ロ、ハ、ニ、
ホ、ヘ、ト云フモノヲ採用スルト云フコトデ
アリマスガ、關西デ今申シマサウニ既ニ實行
シテ居リマス所デハ、從來ノ「ドイツ」名ヲ
使ツテ「ゲス」、「ベ」、「デス」ヲ採用シテ居ル、
別ニ「ドイツ」名ヲ採用シタカラ不自由ヲ感
ジテ居ラナイ、幼稚園ノ子供スラモソレニ
依ツテ十分體得シテ行キツツアル、文部省
ハイロハニホヘトヲ暫定的ニ用ヒルト云フ
御話ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ
不自由ヲ感ジテ居ラナイ、又今現ニ行ヘレ
テ居ル「ドイツ」名其ノ儘ヲ採用スルト云フ
氣持ハアルカドウカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ
致シタイト思ヒマス

等ニ於テモ、此ノ點ヲ議題ト致シマシテ、
相當研究致シタ筈デゴザイマス、尙ホ專門
家ノ意見モ、公式、非公式ニ御尋ネシタ
イ、或ハ又實地ニ督學官等ヲ、實際ニヤツ
テ居ラレマス所ノ例ヘバ今ノ堺ノ御話ガゴ
ザイマシタガ、非常ニ熱心ニヤツテ居ラレ
マス所ヘ、實地ノ觀察ニ出掛ケマシタリ、
圖書監修官等モ大分其ノ方面ヲ研究致シマ
シタ、又軍部等ニ於テモ、中々關心ヲ持タ
レマシテ、聽音訓練ニ付テハ、一層力ヲ致
サウニ、是カラノ運用ヲ工夫シテ參リタ
イト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ
音名稱法ニ付テ御意見ガアリマシタガ、是
ハ日本デ實施致シマス場合ニハ、ドウシタ
ラ宜イカト云フ、呼び方等ニ於テモ亦其ノ
專門家ノ研究モ是カラ重ネテ行キマシタナ
ラバ、日本人ニ一番適切ナモノガ考ヘラレ
ルノデハナイカ、實ハ文部省デモ腹案ヲ練
リツツアリマス、只今ノ御話ノ點ハ、御趣
意ヲ汲ミマシテ、十分検討致シタイト考ヘ
マス

意見ヲ、今マデハ御用ヒニナラナカツタノ
ガ實際デアリマス、サウ云フ譯デアリマスカ
ラ、ドウゾ今次官ノ仰セニナツタヤウニ、
良イモノハ良イトシ、又參考ニスベキモノ
ハ參考ニスル、斯ウ云フコトデ今申シタ國
民ノ音樂教育、特ニ最近ニ於テ軍ノ方ニ非
常ニ必要ダ、特ニ優秀職工ニ必要ダ、斯ウ
云フコトガ明カニサレテ居リマスナラバ、
サウシタ教育ノ方面ニ十分ノ御注意ト御關
心ヲ戴キタイト思フノデアリマス

ソコデ今度ハ學校ノ保健衛生ノ問題ニ付
テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、私ノ要
求致シマシタ其ノ方面ノ資料ガ參ツテ居リ
マセヌノデ、私ノ考ヲ述ベテ、當局ノ御意
向ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、保健衛生ノ中
デモ特ニ第一ニ御尋致シタイ問題ハ、ヤハ
リ肺結核ノ問題デアリマス、既ニ一年ニ十
四萬餘ノ死亡者ヲ出シテ、其ノ十倍ノ百四
十萬ト云フ肺病患者ヲ持ツテ居ルト云フノ
デ、一ツノ國民病トシテ考ヘラレル、而モ是
ガ年々増大シテ行ク、斯ウ云フノデ、先年ハ
畏レ多クモ、皇后陛下カラノ色々有難イ
思召シガアリ、サウシテ結核豫防協會ナド
ガ活躍致シテ居ルヤウデアリマスルガ、特
ニ小學校ニ於テ肺結核ニ感染シマスル者
ガ、非常ニ多イヤウニ見受ケルノデアリマ
ス、或ル人ノ調査致シマシタモノニ依ル
ト、小學校ノ生徒ノ丁度入學期、其ノ時ハ
一五%乃至二〇%ノ感染率ヲ持ツテ居ルガ、
尋常小學校ヲ卒業スル頃ニハ三五乃至四
〇%ノ感染率ヲ持ツテ居ル、併シ幸ナコトニ
ハ感染率ハサウ云フヤウニ高イノデアリマ
スガ、實際ノ發病率ハ其ノ割合ニ低クテ大體
二%乃至三%、稀ニ高イモノデ五%、斯ウ
云フ狀態ニナツテ居ルト云フコトデアリマ

立案サレマシタ所ノ音樂方針ト云フモノヲ、
今後社會ニ廣ク發表シテ、サウシテ廣ク民
間ノ意見ヲ聽イテ、然ル後ニ良イモノハ良
イトシ、非ナルモノハ非ナリトシテ訂正シ
テ、最後ノ音樂教育方針ト云フモノヲ、決
定スルト云フ御用意ガアルノカドウカ、尙
ホ第三ノモウ一ツノ點ハ文部省ハ此ノ和音
教育ヲ採リマスノニ、音名ハイ、ロ、ハ、ニ、
ホ、ヘ、ト云フモノヲ採用スルト云フコトデ
アリマスガ、關西デ今申シマサウニ既ニ實行
シテ居リマス所デハ、從來ノ「ドイツ」名ヲ
使ツテ「ゲス」、「ベ」、「デス」ヲ採用シテ居ル、
別ニ「ドイツ」名ヲ採用シタカラ不自由ヲ感
ジテ居ラナイ、幼稚園ノ子供スラモソレニ
依ツテ十分體得シテ行キツツアル、文部省
ハイロハニホヘトヲ暫定的ニ用ヒルト云フ
御話ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ
不自由ヲ感ジテ居ラナイ、又今現ニ行ヘレ
テ居ル「ドイツ」名其ノ儘ヲ採用スルト云フ
氣持ハアルカドウカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ
致シタイト思ヒマス

等ニ於テモ、此ノ點ヲ議題ト致シマシテ、
相當研究致シタ筈デゴザイマス、尙ホ專門
家ノ意見モ、公式、非公式ニ御尋ネシタ
イ、或ハ又實地ニ督學官等ヲ、實際ニヤツ
テ居ラレマス所ノ例ヘバ今ノ堺ノ御話ガゴ
ザイマシタガ、非常ニ熱心ニヤツテ居ラレ
マス所ヘ、實地ノ觀察ニ出掛ケマシタリ、
圖書監修官等モ大分其ノ方面ヲ研究致シマ
シタ、又軍部等ニ於テモ、中々關心ヲ持タ
レマシテ、聽音訓練ニ付テハ、一層力ヲ致
サウニ、是カラノ運用ヲ工夫シテ參リタ
イト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ
音名稱法ニ付テ御意見ガアリマシタガ、是
ハ日本デ實施致シマス場合ニハ、ドウシタ
ラ宜イカト云フ、呼び方等ニ於テモ亦其ノ
專門家ノ研究モ是カラ重ネテ行キマシタナ
ラバ、日本人ニ一番適切ナモノガ考ヘラレ
ルノデハナイカ、實ハ文部省デモ腹案ヲ練
リツツアリマス、只今ノ御話ノ點ハ、御趣
意ヲ汲ミマシテ、十分検討致シタイト考ヘ
マス

意見ヲ、今マデハ御用ヒニナラナカツタノ
ガ實際デアリマス、サウ云フ譯デアリマスカ
ラ、ドウゾ今次官ノ仰セニナツタヤウニ、
良イモノハ良イトシ、又參考ニスベキモノ
ハ參考ニスル、斯ウ云フコトデ今申シタ國
民ノ音樂教育、特ニ最近ニ於テ軍ノ方ニ非
常ニ必要ダ、特ニ優秀職工ニ必要ダ、斯ウ
云フコトガ明カニサレテ居リマスナラバ、
サウシタ教育ノ方面ニ十分ノ御注意ト御關
心ヲ戴キタイト思フノデアリマス

ソコデ今度ハ學校ノ保健衛生ノ問題ニ付
テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、私ノ要
求致シマシタ其ノ方面ノ資料ガ參ツテ居リ
マセヌノデ、私ノ考ヲ述ベテ、當局ノ御意
向ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、保健衛生ノ中
デモ特ニ第一ニ御尋致シタイ問題ハ、ヤハ
リ肺結核ノ問題デアリマス、既ニ一年ニ十
四萬餘ノ死亡者ヲ出シテ、其ノ十倍ノ百四
十萬ト云フ肺病患者ヲ持ツテ居ルト云フノ
デ、一ツノ國民病トシテ考ヘラレル、而モ是
ガ年々増大シテ行ク、斯ウ云フノデ、先年ハ
畏レ多クモ、皇后陛下カラノ色々有難イ
思召シガアリ、サウシテ結核豫防協會ナド
ガ活躍致シテ居ルヤウデアリマスルガ、特
ニ小學校ニ於テ肺結核ニ感染シマスル者
ガ、非常ニ多イヤウニ見受ケルノデアリマ
ス、或ル人ノ調査致シマシタモノニ依ル
ト、小學校ノ生徒ノ丁度入學期、其ノ時ハ
一五%乃至二〇%ノ感染率ヲ持ツテ居ルガ、
尋常小學校ヲ卒業スル頃ニハ三五乃至四
〇%ノ感染率ヲ持ツテ居ル、併シ幸ナコトニ
ハ感染率ハサウ云フヤウニ高イノデアリマ
スガ、實際ノ發病率ハ其ノ割合ニ低クテ大體
二%乃至三%、稀ニ高イモノデ五%、斯ウ
云フ狀態ニナツテ居ルト云フコトデアリマ

意見ヲ、今マデハ御用ヒニナラナカツタノ
ガ實際デアリマス、サウ云フ譯デアリマスカ
ラ、ドウゾ今次官ノ仰セニナツタヤウニ、
良イモノハ良イトシ、又參考ニスベキモノ
ハ參考ニスル、斯ウ云フコトデ今申シタ國
民ノ音樂教育、特ニ最近ニ於テ軍ノ方ニ非
常ニ必要ダ、特ニ優秀職工ニ必要ダ、斯ウ
云フコトガ明カニサレテ居リマスナラバ、
サウシタ教育ノ方面ニ十分ノ御注意ト御關
心ヲ戴キタイト思フノデアリマス

ソコデ今度ハ學校ノ保健衛生ノ問題ニ付
テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、私ノ要
求致シマシタ其ノ方面ノ資料ガ參ツテ居リ
マセヌノデ、私ノ考ヲ述ベテ、當局ノ御意
向ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、保健衛生ノ中
デモ特ニ第一ニ御尋致シタイ問題ハ、ヤハ
リ肺結核ノ問題デアリマス、既ニ一年ニ十
四萬餘ノ死亡者ヲ出シテ、其ノ十倍ノ百四
十萬ト云フ肺病患者ヲ持ツテ居ルト云フノ
デ、一ツノ國民病トシテ考ヘラレル、而モ是
ガ年々増大シテ行ク、斯ウ云フノデ、先年ハ
畏レ多クモ、皇后陛下カラノ色々有難イ
思召シガアリ、サウシテ結核豫防協會ナド
ガ活躍致シテ居ルヤウデアリマスルガ、特
ニ小學校ニ於テ肺結核ニ感染シマスル者
ガ、非常ニ多イヤウニ見受ケルノデアリマ
ス、或ル人ノ調査致シマシタモノニ依ル
ト、小學校ノ生徒ノ丁度入學期、其ノ時ハ
一五%乃至二〇%ノ感染率ヲ持ツテ居ルガ、
尋常小學校ヲ卒業スル頃ニハ三五乃至四
〇%ノ感染率ヲ持ツテ居ル、併シ幸ナコトニ
ハ感染率ハサウ云フヤウニ高イノデアリマ
スガ、實際ノ發病率ハ其ノ割合ニ低クテ大體
二%乃至三%、稀ニ高イモノデ五%、斯ウ
云フ狀態ニナツテ居ルト云フコトデアリマ

ス、ソレニ致シマシテモ二%ナリ三%ノ發病率ガアリマスナラバ、ソレハ驚クベキ問題ダト思ヒマス、其ノ意味ニ於キマシテ學校ニ於テ年一回ノ身體検査ト云フモノヲ致シテ居リマスルケレドモ、検査ノ數ガ非常ニ多イト云フセイデアリマス、學校醫ノ手ガ廻ラヌト云フセイデアリマス、其ノ發見率ト云フモノハ非常ニ少イノデアリマス、東京ニ於キマスル昭和十三年度ノ小學校身體検査ニ依ツテ發見サレマシタ發見率ト申シマスモノハ〇・〇八%、斯ウ云フ低イ數字デアリマス、斯ウ云フコトカラ見マスルト、モツト〳〵小學校ノ身體検査ヲ精密ニシテ早期ニ之ヲ發見シテ、早ク治療ニ廻ス必要ガアルト思フノデアリマスガ、先ヅ第一ニ學校ノ身體検査ト云フモノニ對シテ今ノヤウナ儘ニ置イテ宜イノカドウカ、私ノ申上ゲマスルヤウニモツト精密ナ検査ヲスル必要ガアルト思フガ、其ノ點ニ付テハドウカ、ソレニハ或ハ學校醫ト云フモノトノ關係ニナツテ來ルト思フノデアリマスガ、現在學校醫ニ對シマシテ大體ドレ程ノ報酬ヲ御拂ヒニナツテ居ルノデアリマセウカ、唯是ハ義務的ニカ、或ハ奉仕的ニ働イテ居ルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ先ヅ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○菊池政府委員 學校ニ於キマシテノ身體検査ハ、御承知ノヤウニ大分古い規程デアリマスガ、學生生徒兒童等ノ身體検査規程ト云フモノハ明治三十三年ニ定メラレタノガアツテ、ソレニ基イテ總テヤツテ居ツタノデアリマスガ、時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、其ノ内容ニモ隨時改正ヲ行ヒマシテ、極ク最近ニ於キマシテハ、昭和十二年ニ改正ヲシテ相當整ヘタ積リデアリマスガ、唯此ノ

検査ハ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、學校醫又ハ學校齒科醫等ニ依ツテ行ハレ、又學校ニ依リマシテハ學校養護婦ガ設ケラレテ居リマス所ニ於テハ、養護婦ノ補助ニ依ツテ検査ノ完全ヲ期シテヤリツツアル次第デアリマス、定期検査、臨時検査ヲヤツテ居リマスガ、ドウモ學校醫等ノ待遇ニ於キマシテモ、マダ十分ナコトヲ期スルコトハ出來マセヌデ、御話ノヤウニ其ノ點ニ於テハマダ遺憾ノ點ガアルト思ヒマス、併シ先程モ一寸申上ゲマシタガ、學校看護婦等モ今後ハ制度上法令ノ上ニ認メルコトニナリマシテ、是等ノ設置ガ獎勵セラレテ參リマシナラバ、又只今ノ御話ノヤウナ早期發見、ト云フヤウナ點ニ於テモ、相當早目ニ手ヲ付ケルコトガ出來ルデアラウトモ考ヘテ居リマス、併シ此ノ點ハ今後一層力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○杉山委員 國民全體ト共ニ國民教育トシテモ是ハ一ツノ大キナ問題デゴザイマスノデ、是非此ノ點ニ十分ノ關心ヲ戴キタイト思フノデゴザイマスガ、今御話ノヤウニ學校醫、學校齒科醫、養護婦、斯ウ云フ制度ガ設ケラレテ――學校醫、學校齒科醫ハ先程御話ノヤウニ待遇ハ惡クテモ奉仕的ニヤツテ居ルト云フ關係ガゴザイマスガ、養護婦ハ町村費デ負擔シテ居ル、斯ウ云フ關係デ都市ニハ澤山アルガ、町村デハナイ、斯ウ云フコトハ先ノ庄司君ノ質問ニ依ツテモ明カニナツタノデアリマスガ、戴イタ資料ニ依リマス、學校看護婦ハ年々數ハ増サレテ行クケレドモ、平均俸給ト云フモノガ段々少クナツテ行クヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フコトナノデゴザイマセウカ、御伺ヒ致シテ置キマス

○小笠原政府委員 其ノ點カラ御答ヘ申上ゲマス、養護婦ハ實ハ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、市町村費デ賄ツテ居リマス、是ハ將來ニ於キマシテハ、他ノ學校職員ト――訓練ト同様ニ國庫負擔ト云フコトモ考ヘナケレバナラナイコトト存ジテ居リマスガ、尙ホ今日ノ實情ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ十分ニマダ多數ノ養護婦ト申シマス、養護訓練ト申シマス、其ノ資格ヲ持ツテ居ル者ガ得ラレマセヌ實情デゴザイマスノデ、今後其ノ養成等ニ努メマシテ、將來十分ノ數ノソレ等ノ職員ガ得ラレマシタ際ニ、其ノ規程等モ學校ニ於テ養護訓練ヲ置クコトヲ得ト云フノデナシニ、寧ロ積極的ニ「置クベシ」ト云フヤウナコトニ變ヘマシテ、サウ云フ機會ニ此ノ經費負擔ノ點モ考ヘタイト存ジテ居リマス、今差當リハ他ノ訓練ト違ヒマシテ、市町村費デ負擔スルト云フコトニナツテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ只今御話ノゴザイマシタ、數ニ於テハ殖エテ行クガ、其ノ給與ノ關係ハ寧ロ良クナツテ居ナイデハナイカト云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ其ノ理由ト致シマシテ、的確ニ是レ〳〵ノ理由ト學ガマス理由ハ、明瞭ニ私共モ實ハ分ツテ居リマセヌ、唯何カト地方ノ費用等ガ高ミマス折柄デゴザイマス、ソコヘ數ヲ段々増シテ參リマス關係上、一人當リノ手當等ガ、單價ガ或ハ減ツテ居ルト云フヤウナ關係デハナイカト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○杉山委員 大體諒承致シマシタケレドモ、昭和三年ニハ平均四十一圓ヲ戴イテ居ツタ者ガ、昭和十二年ニ三十圓、餘リニ其ノ減リ方ガ酷イノデアリマス、近時物價ガ段々暴騰シテ來ルト云フ時ニ、從前ヨリモ四分

ノ一モ減ツテ來ルト云フノデハ、折角ノ御骨折デモ良イ養護婦ガ得ラレナイト云フ心配ガアリマスノデ、此ノ點ヲ十分御配意ヲ願ヒ、又今言フヤウニ國庫負擔ト云フヤウナコトガ一日モ早く出來テ、良イ養護婦ガ得ラレマスヤウニ御願ヒスル譯デアリマス、ソコデ厚生省ト文部省ニ關聯シテ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、今申上ゲタヤウニ學校醫、學校齒科醫、養護婦、斯ウ云フモノガゴザイマスガ、養護婦ト云フ名前モ、御承知ノヤウニ最初ハ衛生婦トカ看護婦トカ申シテ居ツタノガ、衛生方面ハ厚生省ノ領域デアアル、然ルニ拘ラズ文部省ガ勝手ニサウ云フコトヲ學校ニスルノハ宜クナイト、斯ウ云フ横槍ガ入ツテ、今申スヤウナ名前ガ付イタト云フヤウナコトヲ聞及ンデ居ルノデアリマスガ、單ニ養護婦ノ問題ニカリデナシニ、學校醫、學校齒科醫ノ問題ニ於キマシテモ、兩省ノ間ニ於テ、衛生上ノコトハ俺ノ方ガヤルンダ、文部省ノヤルベキコトデヤナインダト云フヤウナコトデ、兩省ノ争ヒノ爲ニ、肝腎ノ此ノ制度ガ活用ガ出來ナカツタ、實際ニ十分機能ヲ發揮スルコトガ出來ナカツタト云フヤウナコトガ今日マデアツタノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ、兩省何レデモ宜イ、此ノ機能ヲ十分發揮スルヤウニ出來レバ私共幸ヒダト思ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ兩省ノ關係ハ今日ドウナツテ居リマスカ、一ツ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○林委員長 杉山君ニ申上ゲマスガ、厚生省ノ方ハ見エラレマセヌ、軍事扶助ニ關係スル御質問デアアルカノヤウニ承知シタモノデスカラ、軍事保護院ノ方ニ來テ戴イテ居ルノデスガ、厚生省ノ衛生局長サンハオイ

デニナツテ居ラレナイノデス、軍事扶助ニ
關スル限りハ十分御答ヘガ出來ル譯デアリ
マス

○杉山委員 私ノハ厚生省ニ關スル問題デ
アリマス

○林委員長 只今ノ杉山君ノ御質問ニ對シ
テハ體育局長ヨリ御答ヘガ出來ルサウデゴ
ザイマス

○小笠原政府委員 學校ノ衛生問題ニ關シ
マシテ、文部省ト厚生省兩省ノ所管ニ付キ
マシテハ、兩省ニ於テ十分連絡ヲ執リマシ
テ、仕事ノ完全ニ遂行ニ努力ヲ致シテ居ル
次第デゴザイマシテ、決シテ兩省間ニ爭ヒ
ト云フヤウナコトハ起シテ居ラナイト確信
致シテ居ル次第デゴザイマス、只今ノ御話
ノ養護婦ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ御示
シノヤウニ衛生婦ト云フ名稱デ呼バレテ
居リマシタモノモゴザイマスシ、又養護婦、
或ハ看護婦、學校衛生婦、學校養護婦、學
校看護婦等ノ色々ナ名稱ガ是マデ用ヒラレ
テ居リマシタ、今日モ尙ホ多少衛生婦、看
護婦ト云フ名稱ガ用ヒラレテ居ル實情デゴ
ザイマス、其ノ名稱ガ色々變ツテ參リマ
シタノモ、決シテ厚生省ノ方カラ横槍ガ入
ツタト云フヤウナ事情デハゴザイマス、
文部省ニ於キマシテハ學校養護婦、學校養
護訓導ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、
其ノ性格ヲ飽クマデモ教育職員ト致シタイ
ト云フ考ヘデ進ンデ參リマシタ、其ノ理由
ハ、衛生職員デアルト厚生省ノ方カラ横槍
ガ入ルトカ入ラストカ、サウ云フコトヲ考
ヘタ譯デハゴザイマセヌノデ、實ハ實際ニ
教育職員デゴザイマシテ、學校ニ於ケル衛
生養護ト云フコトハ飽クマデモ教育ノ一部
トシテ行ハシメナケレバナラナイト云フ其

ノ本質論カラ出發シマシタ意見ト、竝ニ養
護婦ト云フモノニサウ云フ仕事ヲシテ貰フ
以上ハ、之ニ資格ヲ與ヘ、待遇ヲシナケレ
バナラス、ソレニ付キマシテハ唯單ナル衛
生技術員、衛生職員ト云フノデハドウモコ
チラガ思フヤウナ待遇ガ出來マセヌノデ、
ヤハリ教育ノコトニ從事シテ居ル限り教育
職員ト云フ建前ガ立テバ其ノ待遇ノ方モ話
ノ筋ガ通りマスノデ、サウ云フ見地カラ色々
考究ヲシテ參リマシテ、衛生婦ト云フ名稱ヨ
リハ養護婦或ハ又養護訓導ト云フヤウナ名
稱モ考ヘタリシテ居ル次第デゴザイマシテ、
此ノ點ニ關シマシテハ、勿論、其ノ他ノコ
トニ付キマシテモ厚生省トハ十分連絡ヲ執
リマシテ、緊密ナル連絡ノ下ニ極メテ圓滿
完全ニ仕事ノ遂行ニ努力ヲ致シテ居ル次第
デゴザイマス、ドウゾ御諒承ヲ御願ヒ致シ
マス

ト云フモノハヤハリ七%位ニナツテ居ルヤ
ウデアリマス、サウシテ小學教師ハ大體毎
年五百人位ヅツ結核デナクナツテ居ルヤウ
デアリマスガ、師範ノ方デ入學者ノ募集難
ヲ訴ヘテ居ル一方デハ毎年五百名ヅツモ結
核デ失ツテ居ル、是ハ大變ナ問題ダと思フ
デアリマス、サウ云フ意味合ニ於テ小學
校ノ教師、師範學校ノ生徒ノ結核ニ對スル
對策ヲ十分立テナケレバナラナイと思フノ
デアリマスガ、其ノ對策ニ付テ文部省ハド
ウ云フ御方針ヲ持ツテ居ルノカ、又其ノ一
ツノ方法トシテ從來御執リニナツテ居リマ
シタ教員保養所ト申シマスルモノガ最近ノ
中ニ完成シナケレバナラナイコトニナツテ
居リマスルガ、ソレハドウ云フ設立狀況ニ
ナツテ居ルカ、各府縣ノ收容人員モ大體四
十名五十名ト云フコトニナツテ居リマスル
ガ、其ノ「ベッド」ハ滿員ニナツテ居ルノデ
アリマスルカ、ドウナツテ居リマスルカ、又開
放性ノ患者ニ對シテハ僅カニ二百圓乃至四百
圓位ノ金ヲ以テ退職セシメテ居ルト云フコ
トデアリマスガ、ソレデハ餘リニドウモ慘
メナ退職ノ仕方デハナイカ、是等ノ人ガ若
シ病デ傷ツイタトシテモ、何トカ安心シテ
療養ノ出來ルヤウナ制度ナドモ考ヘテヤラ
ナケレバ、先程申シタ所ノ師範學校入學者
ノ募集難ト云フヤウナコトモ起ツテ來ルノ
デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
是等ノ點ニ付キマシテ文部省ノ御意見ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス

アリマスルケレドモ、其ノ實情トシテハマ
ダマダ足りマセヌ、決シテ満足シ難イ状態
デゴザイマシテ、今後大イニ努力致サナケ
レバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス、
師範學校ニ付キマシテハドウ云フ方針デア
ルカト云フ御話デゴザイマシタガ、申スマ
デモナク師範學校生徒ハ將來ノ國民教育ヲ
背負ツテ立ツ中核トナル教育者デゴザイマ
スノデ、之ニ對シテハ特ニ力ヲ入レマシテ
結核豫防ト云フヤウナ施設モ十分ニ致サナ
ケレバナラスノデゴザイマスガ、實情ニ於
キマシテハ師範學校ニ對シマシテハ一般ノ
他ノ學校ト同様ノ學校衛生施設ガアル以外
ニ、學校教員ノ特別身體檢査ト云フコト、
是ハ昭和十二年カラ漸ク始メタノデゴザイ
マスガ、サウ云フコトヲ勵行シテ居ルト云
フ程度デアリマシテ、一旦教員ニナリマシ
タ人ガ結核ニ罹ツタ際ノ休職トカ或ハ退職
等ノ際ノ處置ハ、只今御示シノゴザイマシ
タ通りノ實情デゴザイマシテ、是ハマダ
足リナイト存ジマス、特ニ師範學校ニ付キ
マシテハ力ヲ入レナケレバナラスト存ジマ
スノデ、本年度ニ於キマシテハ特ニ師範
學校ニ於ケル衛生施設ヲ充實サセル爲ニ、
是モマア非常ニ十分トハ申シ得ナイノデア
リマスルガ、若干ノ經費ヲ得マシテ施設ヲ
行ハウト致シテ居ルノデゴザイマス、文部
省ト致シマシテハ此ノ師範學校ニ於ケル衛
生問題ニ付キマシテハ、特殊ノ考慮ヲ持ツ
テ居ルノデアリマスガ、其ノ結果トシテ現ハ
レツツアル所ハマダ、不完全ナル實情デ
ゴザイマス、今後一層努力ヲ致シテ參ラナ
ケレバナラスト考ヘテ居リマス、唯御承知ノ
ヤウニ結核豫防ト申シマスコトハ色々廣
イ問題デゴザイマシテ、生活一般ニ關係ノ

第六類第十七號 恩給法中改正法律案委員會議錄 第三回 昭和十六年二月十日

○杉山委員 サウ云フヤウニ大變圓滑ニ行
ツテ居レバ結構デアリマスガ、私自身ガヤ
ハリ齒科醫デアリマシテ、多少サウ云フ實
情ヲ能ク存ジテ居リマスノデ、今申上ゲタ
ノデアリマスガ、何レノ省ニ屬シマシテモ
結構デアリマシテ、機能ガ十分ニ發揮出來
レバ結構ナノデアリマス、今小學校ノ子供
ノ結核ノコトヲ申上ゲマシタガ、之ヲ教ヘ
ルベキ師範ノ人達モ相當ニ結核率ハ高イノ
デアリマス、昭和十三年ニ東京ノ青山師範、
豐島師範、女子師範ノ精密檢査ノ結果ヲ見
マスルト、檢査人員千五百三十人中ニ結
核患者ガ百七十二名アツタ、デスカラ總數
ニ對スル比率ヲ見マスと七・一二%ト云フ
大變高イ結核ノ數ヲ示シテ居リマス、又小
學校ノ先生ニ就テ見マシテモ、大體三萬人内
外ガ病氣ニ罹ツテ居ル、其ノ中ノ結核數

ト云フモノハヤハリ七%位ニナツテ居ルヤ
ウデアリマス、サウシテ小學教師ハ大體毎
年五百人位ヅツ結核デナクナツテ居ルヤウ
デアリマスガ、師範ノ方デ入學者ノ募集難
ヲ訴ヘテ居ル一方デハ毎年五百名ヅツモ結
核デ失ツテ居ル、是ハ大變ナ問題ダと思フ
デアリマス、サウ云フ意味合ニ於テ小學
校ノ教師、師範學校ノ生徒ノ結核ニ對スル
對策ヲ十分立テナケレバナラナイと思フノ
デアリマスガ、其ノ對策ニ付テ文部省ハド
ウ云フ御方針ヲ持ツテ居ルノカ、又其ノ一
ツノ方法トシテ從來御執リニナツテ居リマ
シタ教員保養所ト申シマスルモノガ最近ノ
中ニ完成シナケレバナラナイコトニナツテ
居リマスルガ、ソレハドウ云フ設立狀況ニ
ナツテ居ルカ、各府縣ノ收容人員モ大體四
十名五十名ト云フコトニナツテ居リマスル
ガ、其ノ「ベッド」ハ滿員ニナツテ居ルノデ
アリマスルカ、ドウナツテ居リマスルカ、又開
放性ノ患者ニ對シテハ僅カニ二百圓乃至四百
圓位ノ金ヲ以テ退職セシメテ居ルト云フコ
トデアリマスガ、ソレデハ餘リニドウモ慘
メナ退職ノ仕方デハナイカ、是等ノ人ガ若
シ病デ傷ツイタトシテモ、何トカ安心シテ
療養ノ出來ルヤウナ制度ナドモ考ヘテヤラ
ナケレバ、先程申シタ所ノ師範學校入學者
ノ募集難ト云フヤウナコトモ起ツテ來ルノ
デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
是等ノ點ニ付キマシテ文部省ノ御意見ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス

○小笠原政府委員 只今御尋ネノゴザイマ
シタ點ハ、最初ニ簡單ニ要領ヲ御答ヘ申上
ゲマスナラバ、只今御示シノ通りノ實情デ
ゴザイマシテ、文部省ト致シマシテハ相當
施設ヲ行ヒ、又努力ヲ致シテ居ル積リデハ

アルコトデ、各方面カラ各種ノ施設ヲ致シテ參ラナケレバナラス、國民トシテノ結核豫防ト云フ大キナ意味デノ結核豫防ハ、是ハ厚生省デ一應國民全般ノコトヲ考ヘテヤルノデアリマス、文部省ノ方ノヤツテ居リマスコトハ、學校ト云フ中ニ入ツテ居リマスモノノ直接關係スル部面ニ於テノ施設ニナリマスノデ、文部省ニ於ケル施設ノミヲ以テシテ完全ニ此ノ結核豫防ガ行ヒ切ルトハ申シ難イノデゴザイマスガ、併シ教育部面ニ於ケル豫防ニ關シマシテハ、今後一層努力ヲ致シテ參ラナケレバナラス、又致シテ參ル覺悟デ居ル次第デゴザイマス

○杉山委員 學校衛生ノ點ハ是レ位デ終リタイト思フノデアリマスガ、今日ノ新聞ヲ見マスト帝國教育會デシタカ何デシタカ、教員互助會ト云フモノガアルカラ、サウ云フモノヲ能ク利用シテ貰フコトガ出來ルナラバ大變宜イノダト云フコトガ見エテ居ツタノデアリマスガ、サウシタ疾病教員ト教員互助會ト云フモノトガドウ云フ關係ニアツテ、ドウ云フヤウナ援助ヲ受ケラレルヤウナ組織ニナツテ居ルノデアリマスガ、分ツテ居レバ一寸知ラシテ戴キタイト思ヒマス

○小笠原政府委員 教員互助會ガ教員ノ疾病等ニ付キマシテ、其ノ療養ノ助ケヲスルト云フヤウナ仕組ニ實ハナツテ居リマシテ、先程ノ御質問ニ際シマシテ私御答ヘノ時ニツイウツカリシテ居リマシテ、保養所ノ御尋ネガアリマシタノニ申落シマシタガ、此ノ保養所ニ致シマシテモ、此ノ保養所ノ經常費ノ幾分カハ其ノ互助會ノ方デ負擔ヲスルト云フヤウナ仕組ニナツテ居ル、サウ云フ保養所ガ割合ニ多イノデゴザイマス、尙

ホ又最近ハ互助會デナク教員共濟組合ガ出來マシテ、此ノ共濟組合ニ於キマシテモ、教員ノ衛生療養ト云フ方ニハ十分考慮ヲ致シツアル次第デゴザイマス

尙ホ此ノ際先程申落シマシタ保養所ノコトヲ申上ゲマスガ、保養所ハ現在設立決定致シテ居リマスノガ全國デ二十箇所ゴザイマシテ、其ノ中デ建築中カ或ハ計畫中ト云フノヲ除キマシテ、既ニ開所致シマシテ教員ヲ收容シツツアリマスモノガ十箇所デゴザイマス、マダ半數デゴザイマス、是ハ大體昭和二十年マデニハ全國ニ普ク設置致シタイト考ヘテ居リマス、現在開所致シテ居リマスモノノ收容定員ハ、大體五十人デゴザイマシテ、中ニハ百人或ハ八十人トカ云フ一二ノ例外ハゴザイマスガ、大體五十人、平均シテ六十名位デアリマス、此ノ定員ハ割合ニ短期間ノ收容ヲ致シマスノデ、時ニ依リマシテ若干ノ移動ハゴザイマスガ、先ヅ大體常ニ定員ガ滿員ニナツテ居ルト云フ實情デゴザイマス

○杉山委員 恩給ニ付テ極ク簡單ニ一二點伺ヒタイト思フノデアリマス、恩給ノ本質ハ色々勤勞シタ功勞ニ對シマスル恩賞ノ點モゴザイマセウシ、モウ一ツハ老後生活ノ保障ヲスルト云フ點ニ重點ガアルデアラウト思ヒマスガ、色々恩給ヲ受ケテ居ル方ノ中デ一方官廳カラ恩給ヲ受ケ、又自治團體カラ恩給ニ類スルモノヲ受ケ、又時ニハ會社カラ色々賞ツテ居ルト云フヤウナ人多少アルヤウニ見受ケルノデアリマスガ、サウ云フ人達ハ今言ツタ恩給ノ本質カラ考ヘテ見ルト、何ト申シマスガ、今日ノヤウナ國費多端ノ場合ニ多少遠慮スベキデアルト思フガ、サウ云フ自ラ進ンデ遠慮スルト

云フヤウナ人モ殆ドナイノデハナイカト思ヒマス、寧ロ政府ハ斯ウシタ際ニ今申シタヤウナ條件ノ恩給者ガアリマスナラバ、是等ニ對シテ節約ヲシテ貰フ、極ク下ノ低イ人ハ別問題トシテ、今申シタヤウナ人ハ相當上ノ人ダト思ヒマス、サウ云フコトニ付テ政府ハ御考ヘヲ持ツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ先ヅ先ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○平木政府委員 恩給受給者ガ恩給ヲ辭退シタ事例ガアルカト云フコトデアリマスガ、此ノ問題ハ最近ニ於キマシテモ私ノ手許ニ數件參ツテ居ルノデアリマス、併シ私考ヘマズノニ、恩給ヲ辭退スルト云フコトハ餘程考ヘナケレバイカス問題デヤナイカト思ヒマス、恩給ノ本質ト致シマシテ、恩給ハ官吏ガ在職中極メテ低イ俸給デ働イテ退職シテ、所謂恩給上ノ言葉デ申シマス、經濟獲得能力ノ減耗ト云ツテ居リマスガ、詰リ働ケナイ爲ニ國ノ方デ恩給ヲ保障スル、斯ウ云フ風ナ性質ヲ持ツテ居ルモノデアアルノデアリマス、之ヲ辭退スルトコトハ其ノ私情ニ於キマシテハ洵ニ結構ナコトデゴザイマスガ、併シ一般ニ斯ウ云フコトガ行ハレルト云フコトニナリマス、自然貰ツテ居ル人モ貰ヒニクイヤウナコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ風ナ考ヘデ居リマス關係上、恩給ヲ辭退シタイト云フ申出ガアリマス場合ニハ、十分其ノ點ヲ注意致シマシテ、家ノ財産モシツカリシテ居ル、或ハ遺族扶助料ノコトニ付テモ心配ガ要ラナイカ、色々點ヲ調査致シマシテ、差支ヘナイ場合ハ折角本人ノ希望デアルカラ、是ハ本人ノ意思ヲ通サシタラ宜カラウト思フヤウナモノニ限ツテサウ云フヤウナ取扱ヒヲシテ居ルノデアリマスガ、一般的ニハ餘リサウ云フコトハ獎勵スベキ

モノデハアルマイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シソレハ極ク少イ恩給ノ下級者ノ問題デアリマシテ、恩給ヲ多額ニ受ケテ居ル人ノ問題ハ自ラ又別デアリマス、隨ヒマシテ多額所得者ニ付キマシテハ、サウ云フ本人ノ自發的意思ニ任セズニ、恩給法ニ於キマシテ一定限度ノ制限ヲ致シテ居ルノデアリマス——停止ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ昭和八年ニ初メテ恩給停止ト云フ規定ヲ設ケタノデアリマスルガ、爾來昨年マデ此ノ昭和八年ノ規定デ來タノデアリマス、段々事情モ變ツテ來マスシ、此ノ點ニ付テ更ニ一層ノ恩給停止ノ率ヲ高メルト云フコトガ適當デハナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、昨年恩給外所得四千圓以上ノ人ニ對シマシテ停止率ヲ或ル程度高メタノデアリマス、實ハ昨年ヤツタバカリデアリマスルカラ、今年ハ斯ウ云フ問題ハサウ——毎年手ヲ著クベキ問題デアアルマイ、モウ少シ實施シタ實績ヲ見タ上デ適當ニ考ヘルベキ問題デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、其ノ問題ニ付キマシテハ今年ハ手ヲ著ケテ居ラナイノデアリマス

○林委員長 杉山君ニ申上ゲマスガ、實ハ今日ハ各方面ニ色々御集リガアルヤニ承知シテ居リマス、隨テ成ベク四時前ニ切上ゲタ方ガ御都合ガ好イノデハナイカト思ツテ居ツタノデスガ、モウ四時ニモナリマスカラ、若シ餘リ長クナルヤウデシタラ次會ニ……

○杉山委員 內務省、司法省ガ見エテ居リマセスカラ、私ハモウ數點アルノデアリマスガ、何デシタラモウ一點ダケ伺ツテ置イテ、アトハ關聯質問ノ時ニデモサシテ戴キマシテ、極ク簡單ニ御尋ネ致シタイト思ヒ

マス、昨年ノ恩給法改正約二百萬圓モ節
約出來タト云フコトヲ一寸伺ツテ居ツタ
デアリマスガ、昨年サウ云フ節約ヲシタカ
ラ、モウ今年ハ手ヲ着ケルコトハ難カシイ、
以後考ヘル、斯ウ云フコトナラハ是非善處
シテ戴キタイと思ヒマスガ、此ノ反對ニ、
古イ恩給受給者デ、其ノ當時デアリマスル
カラ極ク少額ノ恩給ヲ受ケテ居ル、所ガ今
日物價ガ騰貴シマシテ、其ノ恩給ヲ以テシ
テハ殆ド小遣ヒニシカ足ラナイ、斯ウ云フ
巡查守衛ノヤウナ人達ガアルノデアリマシ
テ、私ハ二三同請願委員會ニ其ノ人達ノ紹
介ヲシタコトガゴザイマスガ、極ク古ク數
モ餘リ澤山ナイト思フノデアリマス、サウ
シタ少額恩給デ非常ニ生活ガ慘メデアル、
少額ニシロ恩給ヲ受ケテ居ルカラト云フノ
デ、他カラ色々ノ援助モ受ケルコトガ出來
ナイト云フヤウナ人達ニ對シテ、何等カ多
少増額スルトカ、何方特別ノコトヲ御考ヘ
ニナルコトハ出來ナイデアラウカ、其ノ點
ヲ改メテ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

ル所ハ其ノ他ノ扶助料、或ハ一般文官ノ恩
給ノ問題デアリマスルガ、此ノ受給者ノ問
題ハ成程近頃ノ物價騰貴、其ノ他ノ理由ニ
依リマシテ、生活ガ非常ニ苦シイト云フ事實
ハ確カニアルドラウト考ヘラレルノデアリ
マス、併シ之ニ手ヲ着ケマス云フコトハ、
何シロ非常ニ數モ多ク、例ヘバ現在恩給受
給者ガ五十三萬位ト大體推定サレマスガ、
五十三萬ノ中デ四百圓未滿ト申シマスレバ、
恐ラク三十萬以上ドラウト大體想像スルノ
デアリマス、サウ致シマスルト、一年ノ恩
給ト云フモノハ相當額ニ上ルヤウナ譯デ
アリマス、之ヲ假ニ一割デモ殖ヤスト云フ
コトニナリマス、相當額金額ニナルノデ
アリマス、サウ云フ風ナ事情デアリマスル
カラ、希望ハ洵ニ御尤モダト存ジマスガ、
斯ウ云フ際デアリマスルシ、成ベク一ツ何
カ適當ノ仕事ニ就イテ、働イテ生活ノ方ヲ
補充スルト云フ風ナ方法ヲ出來ルダケ講ジ
テ戴ク、斯ウ云フ風ニヤツテ戴キタイ、斯
ウ考ヘテ居ル譯デゴザイマス

恩給ヲ兵デアルト百八十圓戴ク、外ニ疾病
ノ狀態ニ依ツテ違フガ、若シ一番重イ傷デ
アルト致シマスルナラバ、千百七十圓戴ケ
ルコトニナル、サウスルト合セテ千三百五
十圓毎年戴ケルト云フコトニナリマスガ、
一方亡クナツタ方ハ僅カナ月額シカ戴カレ
ナイト云フノデ、此ノ間ノ均衡ガ餘リニ取
レナイノデハナイカト云フコトヲ、ヨク恩給
ノ問題ガ考ヘラレル時ニ話サレルノデアリ
マス、私モサウ云フ感ヲ深クスルノデアリ
マス、今戰死遺族ニ對シテハ相當ニ考ヘテ
良クシタコト云フ御話デアリマシタガ、モツ
ト之ヲヨリ良クスルコトニ付テ御考ヘハア
リマセスカ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ御伺
ヒシタイト思フノデアリマス

物價騰貴其ノ他ト云フコトモ考ヘラレヌコ
トハアリマセスカ、先ヅ是デ一ツ我慢シテ
戴クヨリ仕方ナイデヤナイカ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居リマス

○杉山委員 誤解ノナイヤウニ申シテ置キ
マスガ、私ハ戰傷者ニ對スル待遇ガ良イト
云フ意味デヤナイノデス、是デモ尙ホ足ラ
スト思フノデアリマスガ、比較シテドウモ
戰死者ノ遺族ノ方ガ餘リニ薄イヤウナ感ジ
ガスルカラ、出來ルナラバモウ少シ増額ノ
方法ハナイカ、斯ウ云フ積リデアリマス、
尙ホ司法省關係ノ點ヤ、内務省關係ノ點ニ
付テ一、二伺ヒタイ點モアリマスガ、是ハ
後刻又關聯質問ノ場合ニデモ、或ハ特別ノ
場合ニデモ質問サシテ戴クコトニシテ、今
日ハ私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○林委員長 本田君、軍事保護院副總裁ガ
オ見エニナツテ居リマスガ、如何デセウカ
○本田(英)委員 色々厚生省ノ關係ノ質問
ヲシヨウト思ツテ居リマシタガ、又他ノ機會
ガアルト思ヒマス、折角三島サンガ來テ居
ラレマスカラ、現在ノ軍事保護院ノ大體ノ
事業ノ狀況ニ付テ、私カラ一々質問シマセ
ヌカラ、副總裁ノ方カラ御説明願ヒタイ

○三島政府委員 事業ノ概況ノ御質問デア
リマスガ、大綱ヲ申上ゲマシテ、若シ御質
問ガアリマシタラ更ニ御答ヘスルコトニ致
シマス、軍事保護ノ事業ハ、政府ト致シマ
シテハ、厚生省ノ外局デアリマス軍事保護
院ガ責任ヲ以テ擔當致シテ居ル譯デアリマ
スガ、之ニ府縣町村各種團體等ガ協力致シ
マシテ、其ノ完璧ヲ期シテ居ル次第デアリ
マス、事業ノ内容ハ、其ノ中心ヲ成シマス
モノハ、御承知ノヤウニ軍事扶助法ノ施行
デアリマス、軍事扶助法ハ大正六年ニ制定

○平本政府委員 只今ノ問題ハ少額恩給受
給者ノ増額ノ問題デアラウト思ヒマス、請
願委員會アタリデ私拜見致シマシタノハ、
例ヘバ四百圓以下位ノ恩給受給者ガ恩給額
ヲ増加シテ貰ヒタイト云フ請願デゴザイマ
シタ、此ノ問題ニ付キマシテハ請願委員會
ニ於キマシテモ度々御説明致シタノデアリ
マスガ、大體此ノ問題ハ二ツニ分ケテ私達
考ヘテ居リマス、第一ノ問題ハ軍關係ノ問題
デアリマス、此ノ軍關係ノ遺族扶助料其ノ
他ニ付キマシテハ、事變發生當時ニ遡リマ
シテ昭和十三年ニ相當大幅ノ増額ヲ致シタ
ノデアリマス、ソレデアリマスルカラ一應
ソチラノ問題ハソレデ解決致シマシテ、殘

方ハ昨年ノ改正ニ依ツテ遺族ノ方々ニ多少
良クシタ、斯ウ云フ御言葉デゴザイマシタ
ガ、恩給ノ場合ニ始終問題ニナリマスコト
ハ、戰死者ノ遺族者ノ比較ヲ致シテ、ヤハ
リ戰死者ノ遺族ガ何ト申シマスルカ、非常
ニ待遇ノ薄イ憾ミガナイカ、斯ウ云フコト
デアリマス、例ヘテ申上ゲマス、戰死者
ハ一時賜金ヲ戴イタ外ニ、五箇年間ハ伍長
ナラバ年ニ二百九十三圓貰フ、上等兵ナラ
バ二百三十四圓戴ク、斯ウ云フコトニナツ
テ居ルガ、是ガ六年目カラ少クナツテ、月
割ニスルト、下士ガ十八圓、兵ガ十四圓、
斯ウ云フコトニナルガ、戰傷者ノ方ハ普通

是ハ増額デアリマスルカラ、成程其ノ後ノ

是ハ増額デアリマスルカラ、成程其ノ後ノ

致サレマシタガ、其ノ後一、二回改正ヲ致シマシテ、現在ノ方法ニ依ツテ扶助ヲ致シテ居リマスガ、昭和十二年七月ニ今同ノ事變ガ勃發致シマシテカラハ漸次扶助ヲ要スル者ガ増加致シマシテ、數字ヲ申上ゲマス

ト、昭和十三年度ニ於キマシテハ扶助戸數ニ於テ五十六萬三千戸弱、扶助金額ニ於テ八千四百七十萬圓弱ニ達シタノデアリマシタガ、昭和十四年度ニ於キマシテハ、扶助戸數ニ於キマシテ五十七萬五千戸弱、金額ニ於キマシテ七千九百萬圓餘ニナツテ居ルノデアリマス、昭和十五年度ニ於キマシテハ、昨年

末ノ計算ニ致シマシテ、戸數ニ於テ三十九萬一千戸餘、金額ニ於テ四千五百五十萬圓弱ト云フコトニ相成ツテ居リマス、此ノ扶助法ノ施行ハ、其ノ内容ト致シマシテハ、大體御承知デアラウカト存ジマスカラ、詳細シイコトハ申上ゲマセスガ、生活ニ困ル者ノ扶助、醫療、扶助、助産、生業ノ扶助、埋葬、左様ナ各種ノ事項ニ付キマシテ扶助ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ

是ハ法律ノ施行デアリマスカラ、之ニ付キマシテハ實際問題ト致シマシテ、法ノ適用ハナイガ扶助ノ必要ガアルト云フ實情ニア

ル者ガゴザイマスノデ、左様ナ者ニ付キマシテハ、特ニ豫算一千万圓ヲ以チマシテ、法ノ適用ノナイ者ノ扶助ニ遺憾ノナイコトヲ期シテ居ルノデアリマス、是ハ相當活用セラレテ居リマシテ、效果ヲ擧ゲツツアル

昭和十六年二月十日印刷

ト思ハレマスル者ニ對シマシテハ、中等學校ノ教員、小學校ノ教員等ヲ養成致シマス、或ハ又府縣ヲ通ジマシテ、ソレハ婦人子供等ニモ適當デアルト思ハレルヤウナ職業ノ補導等ヲ致シマシテ、生活費ノ足りナイ所ヲ補ツテ居ルノデアリマス

次ニ傷痍軍人デアリマスガ、傷痍軍人ハ御承知ノヤウニ戰爭ノ爲ニ傷痍ヲ受ケタ者デアリマスノデ、其ノ病氣ノ治癒ト云フコトガ第一デアリマスルカラ、國ノ施設ト致シマシテ、結核療養所、溫泉療養所、精神病ノ療養所、頭部戰傷、頭ヲ怪我致シマシタ爲メ病氣ニナリマシタ者ノ療養所、脊髓

ノ怪我致シマシタ者ノ療養所、左様ナモノヲ直轄トシテ約四十箇所バカリ造ツテ居リマス、之ニ依リマシテ其ノ病氣ヲ治癒致シマシテ、再起御奉公ガ出來ルヤウニ努メテ居リマス

尙ホ傷痍軍人ニ付キマシテモ病氣等ガ完全ニナリマシタ者ハ勿論、十分デナクトモ一先ゾ働イテ行ク、御奉公ガ出來ルヤウニナリマシタ者ニ付キマシテハ、之ニ職業ヲ與ヘマシテ、サウシテ本當ノ御奉公ガ出來ルヤウニ努メタイト存ジマシテ、國ノ直轄ト致シマシテ、三箇所ノ職業補導所ヲ設ケマシテ、此處デ教育ヲ受ケマシタ者ガ實際ニ職工其ノ他ニナツテ働クコトガ出來ルヤウニ努メテ居リマス、又未亡人ト同様ニ傷痍軍人ニシテ教育家トシテ適當ト思ハレマス者ハ、是モ中等學校ノ教員又ハ小學校ノ教員トシテ御奉公ガ出來マスヤウニ其ノ養成ニ努メテ居ルノデアリマス、尙ホ職業ニ付キマシテハ各地方廳ニ於キマシテモソレゾレ國ノ費用ノ外地方費等ヲ之ニ加ヘマシテ、其ノ全キヲ期シテ居ルノデアリマス

昭和十六年二月十一日發行

其ノ次ニハ歸還軍人ノ問題デアリマスガ、戰場カラ歸ツテ參リマシタ軍人デ除隊ニナリマシタ後、職業等ニ困ラナイヤウニ其ノ職業ノ補導、ソレカラ歸リマシテ當分ノ間自分ノ元ノ職業ニ就クコトガ出來ナイ者ニ對シマシテ、生活、醫療等ノ援護ヲ致シマスト云フヤウナ一般ノ援護、左様ナコトヲ致シテ居ルノデアリマス、尙又是等傷痍軍人、歸還軍人、戰場ニ出テ居リマスル出征軍人ノ家族等ニ付キマシテ、此ノ援護ヲ受ケマスル側トシテノ精神指導等ニ付キマシテモ努メマシテ、國民ノ援護ニ對シテ感謝ノ念ヲ以テ之ヲ受ケマスルヤウニ精々努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ是ト相俟

チマシテ、援護ヲ致シマスル一般國民ノ精神指導ニモ努メマシテ、國民全體ト致シマシテ自分達ノ仕事デアアル斯様ナ感じヲ以テ軍人援護ニ努力ヲ致シマスルヤウニ教養ニ努メルコトヲ又保護院ノ事業トシテ大イニ力

瘤ヲ入レテヤツテ居ル次第デアリマス、極ク大要ヲ申上ゲマス以上ノ通りデアリマス

○林委員長 本田君、御質問ハ終リマシタカ
○本田(英)委員 モウ宜シウゴザイマス
○林委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ明後日ハ午前十時ヨリ開會致シマシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時二十分散會

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局